

# 登山時報

2021 年 2 月 15 日発行 (毎月 15 日発行)

1987 年 3 月 23 日～第三種～承認

ISSN 1880-4993

## 3

「クマを知ろう」

2021 No.553



日本勤労者山岳連盟



会員制搜索ヘリサービス ココヘリ

ココヘリは山で「もしも」が発生した時、  
あなたを見つけるサービスです。

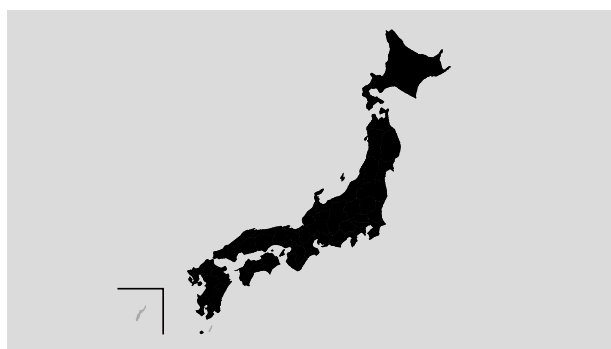


発信機型会員証と全国エリアの搜索ヘリネットワークで、  
あなたの居場所を素早く正確に把握、救助組織へ引き継ぎます。



### 発信機型会員証

- ・最長16kmから受信出来る性能。
- ・信頼あるパナソニックグループ工場生産。



### 全国エリアの搜索ヘリネットワーク

- ・6社の航空会社、全国34都道府県の  
警察・消防航空隊・防災ヘリが導入。

AUTHENTIC JAPAN

オーセンティック ジャパン 株式会社

TEL 0570-050-556 (平日 10:00-17:00)

MAIL [info@authjapan.com](mailto:info@authjapan.com)

WEB <https://hitococo.com/>

より詳しい情報、ご入会はWEBから

ココヘリ 労山 検索



# 中国の青いケシ 探訪記

—雲南省編①—



写真・文 松永秀和

メコノプシス・ゾンディンエンシス  
中国雲南省徳欽県 標高 3280m

私が初めて雲南の地に立ったのは、四川省での青いケシ探索の翌年、2014年4月である。この時はカワカブ会※の主催するツアーに参加した。昆明で一泊し、早朝飛行機で北に向かう。雪を被った岩山を間近に見ながら、着陸。飛行場は香格里拉（シャングリラ）空港であった。この地は以前、中旬（ゾンディン）と呼ばれていたが、観光振興のためJ・ヒルトンの小説『失われた地平線』に出てくる理想郷の名に変更したという。

訪ねた4月は青いケシの季節ではなかったが、常春の国の名にたがわず、シャクナゲやアヤメ、ボタンの原種など春の花を楽しむことができた。翌2015年6月、香格里拉を再訪。石卡（シーカー）雪山や小中甸で青いケシを探す。この青いケシは納怕（ナパ）海という沼沢地の近くで咲いていた。一茎に多くの花をつけることから、ブータン編で紹介したM・プラインアナに近い種とされている。また、種名はこの土地の旧名から取られた。

※1991年に起きた京大土山岳会の梅里雪山遭難事故（17名の山中隊員が死亡）の後、氷河から現れた遺体・遺品の収集活動が続ける小林尚礼氏为主催する団体。同氏は京大山岳部OB。カワカブは梅里雪山の現地読み。





# てしおだけ 天塩岳の山スキー

早春でも良質の雪 道北の名峰を滑る

横田進 札幌中央勤労者山岳会／道央

全国で第4位、北海道では石狩川に次ぐ長さ256kmの天塩川は、はるかに北海道の北半分を縦断して日本海に注いでいる。その源は、大雪山系の北、北見山地の主、天塩岳1557.7mである。夏の登山道は北西側に付いており、基点に天塩ヒュッテ、山頂下の避難小屋もあるルート。雪の季節には東側からスキーを使っての縦走、谷筋のパウダーを楽しむ山となる。



浮島トンネル出口の登り口

今回計画は、東の浮島側から渚滑川支流五十九線沢、二の沢源頭の台地をたどり、一の沢に滑り込んで戻る反時計回り馬蹄形の一周ルートである。2019年の3月、8人パーティにより1泊2日でスキーツアーを楽しんだ。

3月16日、札幌から車で3時間と少しで国道273号線浮島トンネルの北側出口に到着。駐車帯から高差300m程の斜面をシールを付けて登ると、五十九線沢が北側に食い込む、浮島湿原のある台地887mに出る。ここから台地上の尾根と谷をつ



幕営地

ないでいく。

まずは尾根を西へ辿る。ラッセルもほとんどないが、笠山がどっしり見えて先が長いなと思う。3月の北の山は冬の最中ではあるが、雪も落ち着いて日が長くなり余裕が出て楽しめる。

アップダウンを繰り返しながら進んでいくと、二の沢左又の源頭で10人ほどの欧米人の団体に出会った。今はCOVID19のため外国人の姿は無いが、道内のマイナーな山域でもネット情報によって入山するエトランゼを見ることが多くなった。この道北の山もパウダーで人気らしい。ここから尾根は北に転じ、時々雪が降る中、疎林の中のだらかなコル1150mにテントを張る。北海道の冬山、テントの中でガソリンストーブの唼りを聞くのが心地良い。山中泊していると、全てが凍る1月、2月から春に季節が進んだことを実感する。

3月17日、4時起きして山頂を目指す。気温マイナス7度。天



一の沢右岸尾根を望む

塩岳から南に延びる尾根を北上し、一の沢の源頭、1470mにスキーと泊まり用具などをデポする。西側に避難小屋を望み、ひと登りでどっしりした山容の天塩岳山頂に着く。天気は良く、風が強い。道北の山と大雪山系をぐるりと見渡して3月の山中にある幸せを味わう。

一服して、元気なメンバーは、北方に重量感を持ってそびえる前天塩岳まで往復の足を延ばす。コルまで200m下って200m登り返す結構なアルバイトになったが、山頂からの展望は、登った甲斐があると思わせるも

のだ。

再び天塩岳を超えてデポに戻ると次第に風が強くなり、急いでスキーを履いて下る準備をする。一の沢源頭部の崖に沿って回り、1470mから東に延びる一の沢右岸尾根を下る。対岸の天塩岳南東面に見事なシュプールが見える。小さなアップダウンを過ぎしながら、1200mのポコを降りたところでシールを外



道北の山並。天塩岳山頂からの眺望

して、すてきなスキー滑降となる。新人のN君は慣れない下りキックターンで苦勞しているが、3月でも楽しい雪である。急な尾根末端を一の沢に滑り込み、沢沿いに出発点の国道に戻った。少し歩いて車を回収し、充実した2日間を振り返りながら札幌に戻る。

道北の奥深い山、次の機会にはパウダー狙いの季節に楽しみたい。



地理院地図（電子国土Web）に加筆して作成

2019年3月16日～17日  
9:10 登山口～15:20 1150m  
幕営地～6:15 幕営地発～8:30  
天塩岳～10:05 前天塩岳～11:50  
デポ地～16:20 国道

# 杵池から唐松沢・横前倉山滑降

登り2×300m、滑降500m+1000mの充実日帰りルート

毛利正 町田グラウス山の会／東京



横前倉山から大斜面にドロップイン



風吹大池への登り。バックは小蓮華岳



唐松沢での快適な滑降

杵池から唐松沢・横前倉山滑降のルートは300mの登りが2回で、唐松沢500m、横前倉山東斜面1000mの2本を滑降でき、いずれも豪快で長い滑降を楽しめるお勧めルートである。ただし、このルートは全行程15kmを日帰りで滑ることから、天気が良く視界が確保されていることと、足が揃ったパーティーであることが実施の条件だ。

早朝、車2台で来馬温泉を経由して、北小谷から横前倉山東斜面に着けられた林道をたどり、除雪終点の標高570m地点に車をデポした。杵池に着いたところにはロープ

ウェー乗り場は長蛇の列だった。晴れは今日だけだから大行列は無理もない。何人か知った顔も見え、皆同じことを考え集結したようだ。

このルートの起点となるロープウェー自然園駅は、多くのスキーヤーや登山者で混みあっており、天狗原へ向かうルートも一筋の列となって人が続いている。

天狗原手前で行列から右に離れると、途端に人が疎らになる。今年は積雪量に恵まれないことから沢は割れている可能性があったため、天狗原から風吹大池までを、唐松沢を滑るか、フスプリ山経由で尾根を滑るか決めていなかった。唐松沢源頭で話し合った結果、唐松沢に行くことにした。雪が割れて沢が出ていなければ唐松沢を滑る方が面白いし、よりたくさん滑ることができ。

これが正解で、天狗原から標高差500mの快適な滑りが待っていた。唐松沢は雪割れや吹き



溜まりの具合で、谷の急な側面の通過が2箇所あったが、スキーを履いたままで困難というほどのことはなく、50分ほどで唐松沢標高1600m地点に到着。

ここからシールをつけて北に向かい、風吹大池へ向けて登る。トレースや視界がないとルート採りが難しいと思われるが、風はややあるが快晴で、スキーツアーには絶好のコンディションで問題ない。大きな斜面をトラバースしながら登っていくと小蓮華岳が徐々に見えてきて、実に爽快だった。

風吹山荘を右に見て小尾根を風吹大池に向けて滑り、横前倉山への登りにかかる。この辺りは地形が複雑で、小敷池を左から巻くようにして高度を上げるルートを採ったが、藪の混じる急斜面で少しいやらしかった。

横前倉山のピークを越えて頂上から東に僅かに進むと、このルートのクライマックス、横前倉山北東斜面の滑り出しに出る。ここから見る横前倉山北東斜面

はスケールも大きく高度感があり、標高1200m付近の「刃渡り」までは高度差700mの豪快な滑り、「刃渡り」から下も含めると1000mの滑りが待っていた。

狭い急斜面の横前倉山直下を日君は小回りターンで難なく滑っていくが、そのテクニク

も度胸もない私は大回りターンと横滑りで高度を落としていった。斜度が緩くなつてからは快適そのものの滑りで、風吹山荘からの一般登山道に合流するようルートを取り「刃渡り」のやせ尾根に到達した。ここは、その手前から右斜面を迂回することもできるが、ここを慎重に通過すると、あとは樹林帯を縫うように滑ると林道に出る。尾根末端手前で南俣沢に向けて林道は右にカーブを切っていることから注意深くたどると、林道は登りとなった。スキーを外し

て少し登り、後は林道をまた滑って車デポ地点に着いた。今朝、車をデポしたばかりなのに、もう辺りの雪は解けていて、随分前のことのように感じられた。長い行程の充実した1日だった。

横前倉山直下の滑降



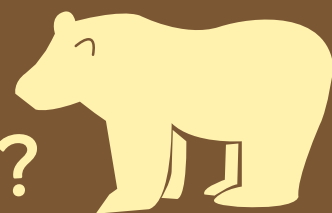
刃渡りのシュプール



地理院地図（電子国土Web）に加筆して作成

2019年4月6日（土）快晴  
9：20 ロープウェイ自然園駅  
～10：30 天狗原～11：40 唐松沢標高1600m 地点～13：00  
風吹大池～13：40 横前倉山～  
14：30 刃渡り～15：10 南俣沢橋～16：40 車デポ地点

# クマに何が起こっているのか？ そして、クマは どのような動物なのか？



小池 伸介

東京農工大学大学院・教授  
日本クマネットワーク 副代表

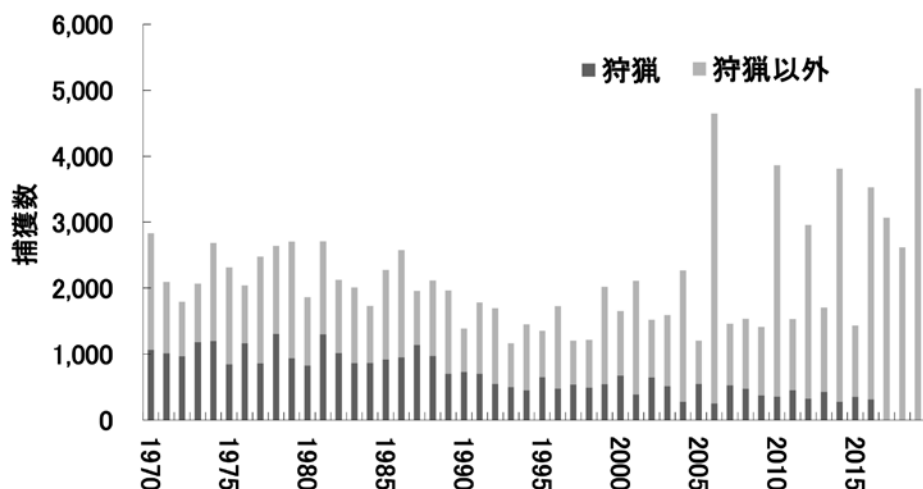


図1. ツキノワグマの捕獲数の変化。色が濃いほうが狩猟による捕獲数、薄いほうは狩猟以外による捕獲数を示す  
(狩猟は2016年までのみ集計、環境省資料より作成)

2020年秋、北陸地方などを中心に人里に現れたツキノワグマ(以下、クマ)のニュースが相次いだ。1月上旬時点の環境省の集計では、2020年度の

クマとの接触による人身事故は138件(被害人数は153名、うち死亡は2名)、そして捕獲数は5622頭と、近年では最も多い値である。多くのメディア

では、「なぜ、今年

は多くのクマが人

里に現れたのか？」

に焦点が当てられ

ていたが、20年近

くクマと付き合っ

てきた筆者からす

ると、たしかに20

年前では考えられ

なかった状況では

あるが、ここ5年

近くは毎年のよう

紹介する。さらに、一方で多くのクマは森の中で人間と関わることはなく、ひっそりと暮らしている。そこで、多くの人々が思い描くクマの姿とはまた違った一面についても紹介する。

## なぜ、秋になると

### クマは人里に現れる？

クマは植物食に偏った雑食で、食べ物の90%近くは植物である。

秋のクマの主食はブナ科の果実、いわゆるドングリである。クマ

にとって秋はとても大事な季節である。それは、クマは冬を冬

眠といって、飲まず食わずの状態

で寝て過ごすために、その準備を進めなくてはいけないから

である。冬眠中は寝て過ごして

いるわけだが、少しずつは代謝

が進行するため、エネルギーの消費が進む。そのため、冬眠中に必要となるエネルギーを秋の間に蓄えておく必要がある。

一方、ドングリには豊作年と不作年を繰り返すとともに、木々



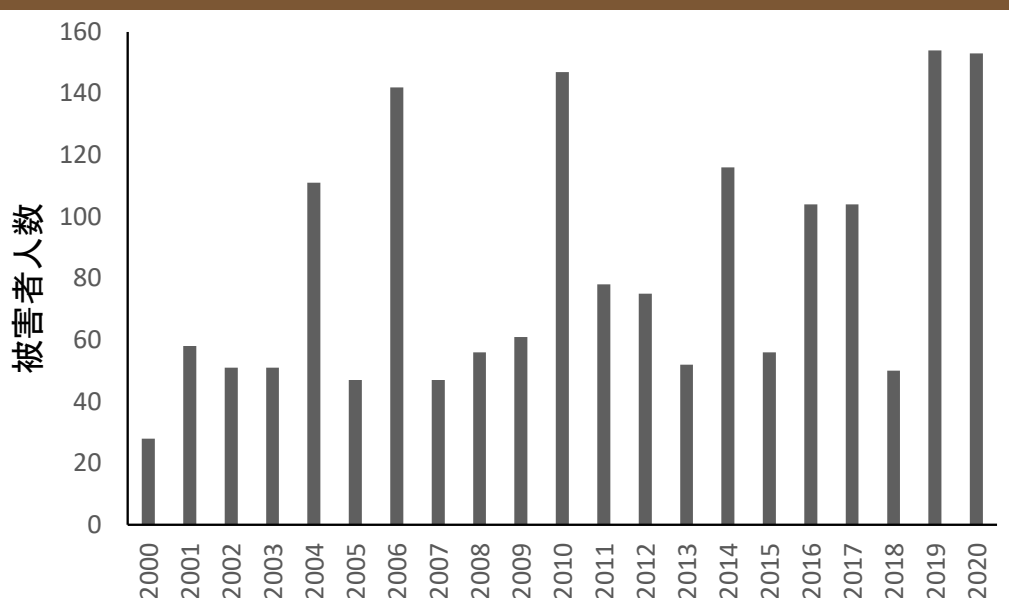


図2. ツキノワグマによる人身事故による被害人数の変化

(2020年は1月7日まで集計、環境省資料より作成)

同士でドングリの実りの程度が同調する、いわゆる結実豊凶という特徴をもつ。そのため、ドングリの不作年には森にはドングリを実らす木はほとんど存在せず、一方豊作年には森の多くの木にドングリがたわわと実る。そのため、ドングリの不作年になると、クマは十分にドングリを確保することが難しいため、いつも生活している場所から遠く離れた場所まで、食べ物を求めて移動することがある。ここまで聞くと、「山に食べ物がない可哀そうなクマが、食べ物を求めて人里に…」という、よく目にする、わかりやすい論理が成り立つ。確かに、ドングリの不作でクマの行動が変わるのは間違いないが、ドングリの不作だけがクマを人里へ出沒させる原因になっているわけではない。

クマは基本的にはとても臆病な動物であり、できる限り人間を避けて行動しようとする。山の中では、クマは人間よりもはるかに発達した嗅覚と聴覚を駆

使して、人間がクマの存在に気付く前に、自らその場を立ち去ることで、人間との遭遇を未然に避けている。そういった習性を考えると、いくらドングリの不作年であっても、よほどの事情がない限り、わざわざ人間が生活する場所に現れるとは思えない。それでも、多くのクマが人里に現れるのには、会いたくない人間を超える魅力的な存在、つまり食べ物があるためである。それは、収穫されずに木に実ったままのカキの果実や地面に散らばったクリの果実、生ごみなどで、クマはそれらに誘引されることで、人里の中へ入り込んでしまう。

(本号14ページにつづく)

(こいけ・しんすけ) 1979年名古屋市生まれ。専門は生態学。主な研究対象は、森林生態系における植物—動物間の生物間相互作用、ツキノワグマの生物学など。著書に『クマが樹に登ると』(東海大学出版部)、『わたしのクマ研究』(さ・え・ら書房)、『森と生きる。ツキノワグマのすべて』(文一総合出版)など。

原田勇成の

# 白神便り

| 第43回 |

## 本当の春が来る

先月号では暖冬少雪を心配していたが、どうやら当たり前の冬か、それ以上の冬になっているようだ。たっぷり降り積もった雪が、本来の美しい春を連れて来る。10年以上も忘れていたあの光景が確実にやって来る。

頭に浮かぶ今年の3月下旬はこうだ。もちろん山奥ではまだ

まだ多くの雪が残っているが、晴天の日数が増え、海に近い十二湖では木々の根回りや傾斜の強い南斜面では地面が顔を出し始める。雪解け水が絶え間なく供給され、遊歩道ギリギリまで水が迫り、中には水没する歩道もあるだろう。さらに、本来池ではないあちこちの窪地に水

が溜まり、ゆらゆらと揺れる光がブナの木肌を浮かび上がらせる。クロサンショウウオが産卵を始めるのもこの頃だ。小鳥たちの歌声が増え、耳からも春を実感できるはず。ただ、芽吹きまではまだ半月はかかるだろうか。それでも、遮られることのない日光が地面を温め続け、その期待に応えるかのようにバイケイソウやトリカブトが芽を出し始める。どちらも毒草ではあるが、残雪を破って伸び出る優しい葉色に愛らしさを覚える。さすがにカタクリやイチリンソウには早いが、いよいよこの春最初の花が咲く。気温が低い日には花びらを開くことなくそつと蕾<sup>つぼ</sup>んでいるが、気温が上がれば一気に花弁を広げる。フクジュソウだ。

新型コロナウイルス禍で緊急事態宣言が発令されている都府県もある現在（1月14日）ではあるが、春は確実に来る。終わらない冬も、明けない夜もないのだから。



# 登山時報

2021 **3** No.553

表紙写真：宮本宏明  
「御嶽山と夕日」

三ツ頭の頂上では大展望が広がっていた。日が傾くにつれて八ヶ岳の峰々が染まってゆく。振り返れば御嶽山に大きな夕日が沈むところだった。この美しい御嶽山が、その後登山者58人が犠牲になる噴火を起こすとは予想だになかった。



## CONTENTS

- |    |  |                   |
|----|--|-------------------|
| 01 | 連載 中国の青いケシ探訪記                          | 松永秀和              |
| 02 | 天塩岳の山スキー                               | 横田進               |
| 04 | 柵池から唐松沢・横前倉山滑降                         | 毛利正               |
| 06 | クマに何が起きているのか？<br>そして、クマはどのような動物なのか？    | 小池伸介              |
| 08 | 連載 白神便り                                | 原田勇成              |
| 10 | ふみあと                                   |                   |
| 11 | 連載 子づれ山さんぽ                             | 武井真理              |
| 12 | 「地図読み迷人」の宮内さん南極へいく！                    | 宮内佐季子             |
| 18 | 連載 労山創立 60 周年に寄せて                      | 守屋益男              |
| 20 | 連載 アドベンチャー・トラベル                        | 大蔵喜福              |
| 22 | 連載 山登りのための やさしい気象講座                    | 野尻英一              |
| 24 | 会報紹介<br>マンガ フウフウ ハアハア                  | 村松孝一              |
| 26 | JWAF CLICK<br>「国見岩周辺環境整備記念 安全登山楽習会」を開催 | 栗原賢一郎             |
| 29 | 全国連盟の活動                                |                   |
| 30 | 専門委員会活動報告                              |                   |
| 33 | ひと 栗原英一さん                              |                   |
| 34 | 連載 地図読み迷人                              | 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真 |
| 36 | 連載 山の仲間を結ぶ会・クラブ紹介                      | 朋友会               |
| 38 | 地元会員特選ミニガイド 天狗岩～シラケ山（群馬）               | 島田恭司              |
| 39 | 筑井孝子のちょっと人物・物をうまく描こう / あらかると           | 石井光造              |
| 40 | 連載 オススメ山道具 プラティパス VS ペットボトル            | 笹原芳樹              |



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク（大豆油インク）を使用しています。



## 平和でこそ登山ができる

核兵器を違法とする核兵器禁止条約が1月22日に発効し国際法となった。平和でこそ登山ができるという旗を掲げて、1986年以来、核兵器禁止平和大行進に参加し、運動に取り組んできた労山にとって、年明けの素晴らしい出来事だ。

労山は1960年に「勤労者山岳会」として創立された当初から、平和を大切にする姿勢を明確にしていた。1982年の第15回全国総会では「平和な社会でこそスポーツ文化の発展が保証される」との文言が採択された「総会宣言」に取り入れられ、平和問題に積極的に取り組んできた。又、各地方連盟でも毎年平和大行進が取り組まれている。

最近読んだある地方連盟の

会報記事に「総会で国民平和大行進の取り組みについての発言がありました。『初めての参加者から、あまりにも政党色、政治色が強すぎる、違和感を抱いた方が多くおられた』との意見でした。」とあり、県連会長が、今までの経過、運動の歴史、なぜ取り組むのか、等丁寧に答えていた。

一会員の意見を取り上げ、説明するだけでなく、この意見を全ての会員と共に学んでいこうとする教育の場の一面をも担わせているものだった。

私は全国労山も会員の素朴な疑問・質問を丁寧に応え姿勢を示す事が大事であることを学んだ。

コロナ禍の中で、各地方連盟、会、クラブは思うような登

山活動ができず会員の減少を余儀なくされている。平和と登山、南アルプスの自然保護に取り組み集めた署名がどう運動を動かしてきているのか等を全会員に知らせ、会員の理解を深めていく努力をすることが、労山運動を大きくし、仲間増やしにも繋げていけるのではないだろうか。

核兵器禁止条約は発効したが、日本政府は唯一の戦争被爆国でありながら、この国際法に背を向けている。現在の日本政府に対し、一刻も早く批准・同意署名することを望みたい。そして、労山の仲間、国民に対して核兵器禁止を訴える平和大行進の取り組みを強化していくことがさらに大事になっている。

(久保典子／日本勤労者山岳連盟 副理事長)

ベビーキャリアいろいろ

## ベビーキャリアのある生活②

前回（2020年12月号）に引き続き、小さなこどもとの山さんぽに重宝なベビーキャリアに焦点をあて、その活用法を紹介します。

### 街でも活躍

私は、丘陵地帯をひらいて作られた住宅地の、その高台の1番上に住んでいます。その土地柄、普段道を歩いていて、坂道だらけなのはもちろん、階段が出てくることもしばしば。ベビーカーだと、階段を迂回した道を通らねばなりません（強行で、ベビーカーを運んで階段を昇降する方法もあるが危険）、ベビーキャリアだとそのまま階段を昇降できます。

また、公共交通機関での外出時、乗換えがある時も、ベビーカーだとエレベーターを探さねばなら



坂道だらけのまちの特徴一坂道のみならず、階段にもよく出遭う（しかも傾斜が急）

らず、これが意外と気疲れ。上へ行きたいけど、下へ行く便を見送ったり、エレベーターがせまい上にさらに混んでいると乗れなくて見送ったり、乗ったら乗ったで、ベビーカーは場所をとるので周りの人に気をつかったり…。ベビーキャリアだと、階段でもエレベーターでもおかまいなしで、前に進めるので便利なときがあります。

### 両手があく！ 荷物をひとまとめ

小さなこどもと出かけると「こどもに気を取られ、出先で忘れ物」なんてこともしばしば。そんな時は大抵、荷物が背中に、肩に、手に…と荷物を複数に分けて持っていた時…！

こどもが小さいと、携行するお世話グッズも多いうえ、私ひとり+こどもふたり体制の時はなおさらです。

ベビーキャリアは（モデルによりますが）、こどもを乗せるスペースの下部が、荷室になっていることが多く、ここに荷物をひとまとめにできます。そしてこどもも背負えてしまうので、両手があきます。両手があくと、荷物の管理もラクになり、忘れ物も軽減される気がします。上の子と手もつなげます。

街中でもベビーキャリアを使い倒しているひとはめったに見かけないので、子づれであることに加え、その道具としての珍しさに、いろんな人に声をかけてもらえる良さ、面白さもあります。

# 子づれ山さんぽ<sup>o</sup>

できるかな？  
行ってみよう！

番外編  
vol.44

やま

武井真理 カモシカスポーツ

七瀬 2015年6月生まれ

峻 2018年7月生まれ



公共交通機関での帰省にも重宝。自宅から最寄り駅まで徒歩→電車乗り換え2回→新幹線へ乗車…この間、階段移動が結構ありますが、ベビーキャリアならスイスイ。新幹線の駅ホームにて（峻1歳前半）



新幹線の座席と座席の間に置いたベビーキャリアによじ登っています（七瀬1歳半頃）



泥を採る様子を見守る(?)ペンギン。右のボートはエンジンを積んだレスキュー艇。

“地図読み迷人”の宮内さん

# 南極へいく!

第61次南極地域観測隊に参加して ①

— 出発まで —

写真・文 宮内佐季子

山ガイドは野外観測支援と呼ばれる  
設営隊員として応募することが多い  
ようだ。私たちは2019年11月27  
日に飛行機でオーストラリアへ行  
き、先行していたしらせに乗艦。数  
日間の準備の後昭和基地へ向かい、  
ひと月弱で昭和基地到着。翌年2月  
月上旬に昭和基地を出てオーストラ  
リアに向かい、オーストラリアから飛  
行機で3月20日に帰国した。

第59次隊の村越さん帰国から数か  
月後、61次越冬隊に応募すること、  
研究内容から、もう1人派遣したい  
ことを聞かされ、「行く?」と聞か  
れて即座に「行きたいです」と答え  
たのが私にとっての始まりだった。  
私に声をかけたのは、野外行動中の  
リスク管理能力を買ってくれていた  
からだそうだ。61次越冬隊は1人、  
62次夏隊で1人行けることになり、  
61次越冬は当然村越さん、62次夏が  
私、のはずだった。

それが怪しいと感じ始めたのは  
2019年春、村越さんから「実は  
まだ健康診査通ってない」と聞いた  
ときだ。「まあ再検査でOKだった  
ら行けるからさ。」と、行けること  
を疑っていなかったが、もし村越さ

んが行けなければ私が行くことにな  
るし、しかも出発は半年後に迫って  
いる。ということで、11月末からの  
仕事を受けるのをやめた。同時に、  
62次隊での仕事を覚えるための訓練  
の準備をしていた。

8月8日、村越さんから電話があ  
り、11月27日発の61次夏隊で南極に  
行ってほしいという。そうなった  
かあ。「じゃあ、行きます。」ん?  
けっこうぎりぎり?

そこから、まずは健康診断に全力  
を尽くす。が、すぐに世間はお盆休  
み。地元で全ては受けられないので  
東京にも行き、再検査もあり、審査  
にも何週間もかかり、そこからよう  
やく公用パスポートの申請をして、  
ようやく行けることが分かったのが  
11月11日。手続きだけで疲弊した。

訓練、チームに馴染む：準備の日々

南極での仕事のトレーニングもし  
た。南極での私の仕事は、野外行動  
のリスクマネジメントに関するデー  
タを収集することだ。往復の船の中  
では、多くの隊員に写真を見てリス  
クをどのように認識しているか話し

出発まで3か月半? 確定は16日前!?

2017年11月〜翌年3月、地図  
読み迷人(本号34〜35ページ)を監  
修している村越さんが第59次南極地  
域観測隊に同行した。行く前からわ  
くわくしている様子が何かにつけて  
伝わってきたし、帰ってきてからも  
南極の話をする様子が興奮気味なの  
が印象的だった。

南極地域観測隊は国家事業として  
地球環境の観測や研究をしている。

61次隊は約90人、その中で南極観測  
船しらせと一緒に南極に行ったのが  
約70人、そのうち約30人が越冬隊な  
ので帰りのしらせには乗らず、翌年  
のしらせで帰ってくる。私たち61次  
の夏隊と一緒に帰りのしらせに乗っ  
たのは、60次の越冬隊だ。

隊員の仕事は、南極での生活・活  
動を支える通信や医療などの設営、  
気象などの基本観測、それから研究  
観測の3つに大別でき、私は研究観  
測の隊員として参加した。山岳/登



てもらう。南極では、野外で活動するチームに同行して活動の様子を観察・動画撮影し、その行動の背景にあるリスクに関する考えを話してもらう。この、考えていることを話してもらうというのが難しく、トレーニングの中心だった。村越さんのいる静岡大学で練習したり、実践練習として西伊豆コースタルカヤックスのガイドさんに聞き取りをしたり、実際に61次隊の人たちに極地研究所で事前の聞き取り調査をしたり。実践練習にシーカヤックを選んだのは、そのガイドさんが信頼できることはもちろん、自分が普段トレーニングしていない分野での活動で聞き取り調査のネタを拾う練習をしたかったから。でも本当は、久しぶりに西伊豆でシーカヤックを楽しみたかったというのも大きい。海からしか近づけない浜に行ったり、洞窟に入ったりもできる、とてもきれいで魅力的な海だから。

また、南極で最初の10日ほど同行させてもらうチームの合宿にも参加した。もちろん、このチームに同行する第一の目的はデータ収集だ。一方で、観測隊は限られた人数、日数

で最大の成果を上げるため、お互いの仕事を手伝う。ということ、私は観察者であるのと同時に、チームの一員となって観測をすることになる。このチームの主な活動が、池の底に溜まっている泥を採るということ、とで、ゴムボートを3艇くっつけ、その上に板を敷いて三脚を立てて、採泥のための筒を継ぎ足し継ぎ足しのばしていき、筒を池の底の泥に突き刺してその筒に泥を入れる。そのため

のボートや三脚の組み立て、ゴムボートのこぎ方、落水した場合の対応、レスキューや牽引のための船外機付きボートの操船、筒を泥に深く突き刺していく際に筒を上からたたくための削岩機の使用、などを繰り返し練習した。似たようなネジが何種類もあるのに難儀したり、不安定な水上で長い筒を扱うのが難しかったり、寒い環境を想定して濡れないように作業することが難しかったりと、全てがスムーズだったわけ

ではないが、南極での活動を振り返ると、この合宿の成果は大きかった。多くの隊員は2月と6月の合宿形式の訓練をしているし、7月1日からは半分ほどが極地研究所勤務とい

うこともあり、私は転校生のような感じになったので、隊員への事前の聞き取り調査や合宿への参加は、私が隊に馴染む良いきっかけにもなったように思う。

南極に行つてからの仕事に不安はあったものの、それ以外の準備が問題なくできて出国したときには少しほっとした。行きの船の中でも聞き取り調査はするが、その内容にはあまり不安はなかったし、時間には余裕があるからだ。そして、1か月におよぶ船生活を楽しみにしていた。

(次号に続く)

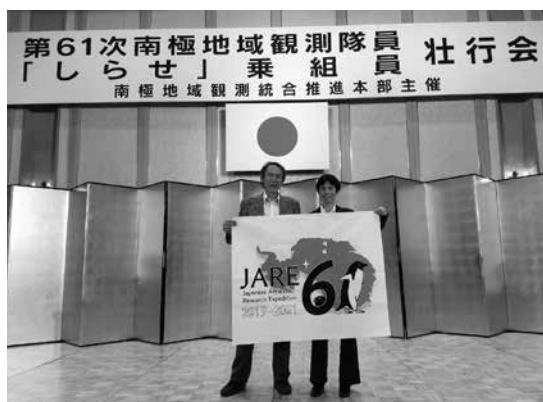


南極で池の底の泥を採っている様子。長い筒の中に泥や水が入っていてとても重い。



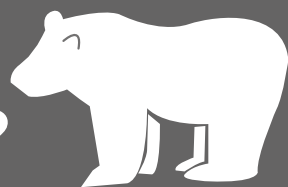
一人は脚立に乗っている。この脚立の上から削岩機でガンガン筒をたたくので細心の注意が必要だ。

(みやうち・さきこ) 20代でアドベンチャーレースに参戦してナビゲーションの重要性を痛感し、オリエンテーリング競技を始める。2004年度全日本チャンピオン。現在は静岡県の朝霧高原を拠点にトレイル関連イベントでの安全コンサルティングや読図講習会の講師をつとめる傍らシクロクロス(自転車競技の一種)大会に出場。2012・2013年全日本選手権連覇。本誌では連載「地図読み迷人」を小泉成行氏と交代で執筆している。著書「山歩きの地図読みドリル」(ナツメ社)好評販売中。



2019年11月6日に開催された壮行会にて

# クマに何が起きているのか？ そして、クマは どのような動物なのか？



(本号7ページよりつづく)

## 社会の変化が クマを人に近づけた？

ドングリの結実豊凶は、ドングリが長い進化の歴史の中で身に着けてきた繁殖戦略であり、遠い昔から存在してき

た自然現象である。しかし、2000年以降になつて秋にクマが大量に人里に現れ、そして駆除される現象が頻発し、近年は常態化してきた。この原因の一つに、クマと人間との距離の接近が考えられ

る。過去40年間で、クマの分布は低標高の地域に拡大し続けてきた(図3)。おそらく、ある程度の年齢以上の方々にっては、クマは深い山奥で暮らす動物として認識されていると思うが、すでに現在



図3. クマ類の分布域の変化。北海道はヒグマ、本州、四国はツキノワグマを示す。色が薄いほうが2004年にクマ類が分布していた場所、濃いほうは2004年以降に2014年までに分布が拡大した場所を示す

(日本クマネットワークの報告書より改変)

の日本の各地では、平野周辺の森にはどこでもクマが分布し、人々が知らぬ間にクマは我々の身近な動物になっている。

クマの分布拡大には、日本人の生活スタイルや社会構造の変化が関係している。戦後、自然資源への依存が低下するとともに、急激な都市への一極集中、少子高齢化の進行で、奥山からは徐々に人が撤退してきた。さらに、20世紀後半には奥山と平地の間に位置する中山間地域でも同様な状況が発生し始めた。かつて、人間活動が盛んであった中山間地域では、奥山に生息する動物が近づいてきたとしても、獲ったり奥山に押し返す力が十分にあり、奥山と平地との間の「緩衝帯」として機能してきた。しかし、高齢化が進んだ地域には動物を押し返す力はなく、さらに人が撤退した地域の耕作地は放棄され、森へと戻り、そこが動物たち

の新たな生息場所となることで、動物たちは分布を広げてきた。

さらに、どの家の庭先にもあったカキなどは、人が撤退した後も果実を实らせ続ける。森の中で、小さなドンダリをコツコツ食べてきたクマにとって、人が去った集落に放置され、たわわに実った大きなカキの果実は、とても魅力的であったに違いない。はじめは、森の際などのカキの果実を、人目を避けるように夜にこっそりと食べていたのだろう。しかし、これまで恐れていた人間は存在しなかったり、居ても追われることなく、簡単にカキを食べることが出来た成功体験は、だんだんとクマの行動を大胆にさせ、夜中から昼間に、山際から人里の中へと、活動する時間や場所を変えていったと考えられる。その結果として、白昼に森から遠く離れた町の中に、クマが迷い込んでしま

うような状況につながった可能性は十分に考えられる。つまり、クマの人里への出没の最後の引き金を引いたのはドンダリの不作かもしれないが、それ以前から徐々にクマの行動やクマの人に対する認識は変わり始めていた可能性は十分にある。

### 森の中のクマ

ここで、改めてクマとはどういう動物なのか紹介したい。クマは3月から4月に冬眠を終え、6月から7月には繁殖期を迎える。その後、9月から10月は食欲亢進期とも呼ばれる「食べたい」という欲求が高まる時期を迎え、11月から12月にかけて冬眠を開始する。そして、冬眠中の1月から2月にかけてメスは出産する。また、クマの食生活は、前述のように植物を中心としたメニューで、春は芽吹いたばかりの若葉や花、夏は

野生のサクラやキイチゴなどの果実のほか、アリやハチを食べる。秋は様々な果実、特にドンダリを食べる。こういった生き様のクマであるが、サルやシカなどに比べると、分かっていることは極めて少ない。それは、クマは直接観察することがほとんどできず、生態調査が難しいためである。そのため、クマがどのような動物であるかについては不明な点が多い。

### 森の木々の種子散布者

一方、最近になってクマが森の中で果たす役割など、少し違った視点でクマに迫る研究も見られるようになってきた。クマは液果といわれる果実(硬いタネの周りに柔らかい果肉が存在する果実、サクラやヤマブドウなど)を食べた場合には、ほとんどのタネを噛み砕いたりせずに、タネは原形を保ったまま、十分



に発芽能力を持った状態で糞とともに排泄する（写真1）。そのため、森の木々の種子散布者として機能する。さらに、クマは果実を実らせた木から数十kmを超える範囲にまでタネを散布する能力を持つ。これは鳥やサルといった、森に生息する他の種子散布者よりも圧倒的に長い距離である。では、植物にとって長距離の種子散布のメリットとは何であろうか？メリットの一つ目は森の中の樹木同士の遺伝



写真1. ウワミズザクラのタネを大量に含んだツキノワグマの糞

ば、緯度方向では約100 km北上するところで約1℃の気温の上昇に対して、垂直方向では約100 m上昇をすることで約0・65℃の気温の上昇に対応できる。つまり、緯度方向および垂直方向であっても、長距離あるいは大きな標高階間での種子散布を行う種子

子流動の機会の増加に貢献するとともに、2つ目は新たな生育地にタネが散布されることで、樹木の分布拡大や新しい生育地の創出に貢献している点である。また3つ目は長期的な環境変動への対応がある。近年、地球温暖化が進行することで、植物各種の生育可能な範囲が北上あるいは高標高地へ移動する可能性が指摘され、植物はそのような地域に移動しないかぎり、種の存続が難しくなる。例えば、

### クマは森の掃除屋

散布者が存在することで、長期的な温暖化から植物の避難が可能となる。実際にクマは、他の種子散布者に比べて大きな標高階間での種子散布を行っていることから、長期的な地球温暖化に植物種が対応していく上で、クマの存在の必要性が指摘されている。

また、クマは森の掃除屋としての顔も持つ。アフリカなどで、動物の死体がハゲワシなどによって跡形なく食べられるといった映像を目にすることがあるが、ハゲワシのように動物死体を食物として利用する動物をスカベンジャーという。このスカベンジャーは、生態系の中では大事な役割があり、例えば採食による死体の迅速な除去は、有害な細菌や病原菌の蔓延を防ぐことにつながる。しかし、ハゲワシのように、動物死体の



写真2. ニホンジカの死体を食べるツキノワグマとタヌキ（撮影：稲垣亜希乃）

# クマに何が起きているのか？ そして、クマは どのような動物なのか？



採食に特化した動物や、大型の肉食動物が生息しない場所では、どのように動物の死体が消えていくのかについてはあまり分かっていない。もちろん、日本もそのような場所の一つであり、日本に約200万頭以上が生息するニ

ホンジカや80万頭以上が生息するイノシシの死体がどのような運命をたどるのかについては、科学的には不明であった。そこで、実験的に40体を超えるニホンジカの死体を林内に設置し、その消失過程を記録したところ、クマ、イノシシ、タヌキ、キツネ、ハクビシン、テンの哺乳類6種、そしてクマタカ、トビ、ハシブトガラスの鳥類3種が死体を食べに訪れていた。なかでも、クマとタヌキが最も頻繁に死体に訪れていたことから(写真2)、日本の森ではクマが動物死体を消失させる大きな役割を果たしていることが明らかにってきた。

## 人とクマとの共存 私たちの課題

クマは森の中でどのような生活を送っているのか、まだまだ不明な点が多い。私たちがクマを目にするのは、人

里に現れ、人間に囲まれ、パニックに陥ったかのように見えるクマの姿がほとんどである。しかし、実際は日本に暮らす多くのクマは、生涯で一度も人間と遭遇することなく、ひっそりと森の中で暮らしている。確かに、クマが人里に現れ、事故が発生することはどうしても防がなくてはならない。そのためには、いわゆるクマ騒動を毎年のように繰り返さないために、何をすべきかを、改めて考える必要がある。クマの人里への出没を、簡単に「ドングリの不作で食べ物が無いから」で済ましている限り、この問題の根本的な解決にはつながらないことは明らかである。クマ騒動がひと段落した今こそ、「なぜ、クマが人里に現れるのか?」「クマとはどんな動物なのか?」、を考える時期であろう。

## 山筋ゴージャ体操

## 筋トレ動画を公開中

- ◆室内で1回7分
- ◆最初は無理なく朝・夕に、慣れたら週3回以上継続が効果的

視聴は…コチラ→



または 日本勤労者山岳連盟 HP、Information 欄の案内から



# ＊ 労山創立60周年に寄せて ＊

## 岡山労山 結成の頃

守屋益男

「岡山勤労者山岳会」は1966年5月9日、8名が、当時、岡山市田町にあった岡山解放会館の2階大広間に集まって結成された。その時の出席者は、守屋益男（筆者）、木村従光、幡上安雄、久山瞳、日笠芙美子、伊丹輝行、中村恭子、秋山敏行の8名であった。役員は、私が一番年長（30歳）だったことから会長に選ばれ、副会長が幡上氏、事務局長が木村氏と決まった。



1966年6月26日熊山遺跡広場にて（向かって左端が筆者）

結成最初の山行は6月12日、10名で那岐山へ登った。国鉄因美線的那岐駅から登り、頂上を踏んで南面の豊沢へ降った。2回目は6月26日、16名で熊山に

登った。私は1歳の長男を背負って参加した。看護師の妻が仕事で日直に当たっていたからだった。その長男は今55歳である。



（もりや・ますお）1935年11月生まれ、岡山市在住。60歳まで会社員。23歳から登山を始め、日本百名山を完登、モンブラン、キリマンジャロ、アララット、エブルース、オリンボス、キナバル、マウナロア、コジオスコ、ベン・ネビス等に登る。登山詳細図（熊山、高尾山、奥多摩東・西、丹沢東・西等）25編を作成。1966年岡山勤労者山岳会創立に参与、1999年山陽カルチャーマウンテンクラブ創立に参与、1976～2004年岡山県勤労者山岳連盟会長、2002～2010年日本勤労者山岳連盟会長、現顧問。

8月の夏山は、幡上氏がリーダーで木曾駒へ数名で行ったと記憶している。

なお、岡山労山結成の動機も記しておきたい。

私が登山を始めたのは23歳の時で、勤務先（中国電力）の労働組合青年婦人部が催した貝殻山キャンプに参加して登山に興味があったのが動機だった。当時、会社では中国電力山岳連盟が結成された時期で、本格的な登山をやっている人（平岡さん）と知り合いになり、彼にマウンツマンで登山を教えるもらった。5月連休に伯耆大山（1729m）の振子沢へ幕営して雪上訓練を仕込まれ、8月には

北アルプス剣岳（2999m）の剣沢へ幕営して八つ峰の岩登り、長次郎雪溪、三の窓雪溪などを登下降した。

当時、私は「労演」（勤労者演劇鑑賞団体）の会員でもあった。その「労演」で木村従光氏と知り合ったのである。彼は登山をやっている、岡山山岳会の会員であった。二人は意気投合し「労演」の行事として40名規模の夏山・伯耆大山登山を実施し、CL・守屋、SL・木村で大成功をおさめ、皆さんに喜ばれた。続く翌年の夏には、伯耆大山の東側にある地獄谷の沢巡りを、40名規模で取り組み、参加者にわらじを履いてもらって





岡山県連主催 比婆山縦走交流ハイキング  
(2018年4月)  
『労山の60年』より転載

歩き通し、好評を得た。

その頃、全国に労山が続々と結成されていく情勢を「しんぶん赤旗」が伝えていた。このような中から、二人は自然に、岡山にも「労山」をつくろうではないか、という話になり、守屋、木村が中心となって山好きな仲間呼びかけて「岡山勤労者山岳会」を結成したのだった。

その後、岡山労山は次第に大きくなり、1971年、「倉敷勤労者山岳会」を分離独立させ、二つの会で「岡山県勤労者山岳連盟」を結成し、そして1984年、「みまさか山の会」の結成に尽力し、県連は加盟3団体となった。現在は9団体、会員860名に成長している。

### 参考：各地で「労山」結成へ

日本で最初に労山が結成されたのは東京で、1960年

5月12日、東京都千代田区公会堂に1000余名が集まり「勤労者山岳会」が結成された。会長に黒田寿男氏（弁護士・岡山県選出社会党代議士）、事務局長に伊藤正一氏（三俣山莊創設者）を選び、事務所を黒田法律事務所（所在…四ツ谷1―2）に置いた。結成

の呼びかけ人はこのほか、深田久弥、松本善明、田中澄江、谷口千吉、袋一平など錚々たるメンバー16名で、同年9月、会名を「日本勤労者山岳会」に改めた。このことが報道されると、日本各地に「勤労者山岳会」が結成されるようになり、1963年7月、東京、京都、横浜、徳島、松本から

11名が東京都新宿区の須賀神社に集まり、「日本勤労者山岳連盟」が結成された。そして1965年8月、上高地で労山主催の「全国登山祭典」が開催され、全国から70余名が参加し、各地に労山が誕生す

る基となった。この中に岡山から参加した木村従光氏の姿があった。

当時、登山界の情勢は1956年「日本山岳会登山隊」のマナスル（8163m）初登頂があり、それを契機に全国に登山ブームが沸き起こり、「三人寄れば山岳会」という諺が生まれたほどだった。また社会情勢は1960年、労働者階級を中心とした「安保改定反対闘争」が巻き起こり、岸内閣を退陣に追い込んだ。こうした情勢の下、自覚的、民主的な勤労者が集まり「労山」「労音」「労演」といった組織が各地で結成されたのだった。

また、「労山」が結成された背景には、これまでの既存の山岳会が、入会の資格（年間入山日数が何日以上の方等）を設け、誰でも自由に入ることができなかったこともあった。



# アドベンチャー・トラベル

## 遠山郷古道と氷瀑探し —伊那山脈—



1月20日大寒の日、この冬最低の寒さを観測したところが多かったそうで、暦通りに天候もまともになりつつある？ これもコロナの思し召しで、経済活動の停滞が成せる業かとニヤリ。氷瀑を楽しもうと、安近短の滝を探すが天候は暖かさを取り戻し、完全結氷とはならず断念。次の寒気を待ちつつ、若い頃の道具を引っ張り出して眺めている。“こんな無骨な道具でよく登ったね”と言われつつ、今どきのスマートな最新モノを使わずに登れたらうれしいだろうなと想像を巡らせた。

禍誤除けの滝、完全結氷（18年2月撮影；八幡秀彦）。オーバーハングしており凍った後、滝裏に回ることが可能。

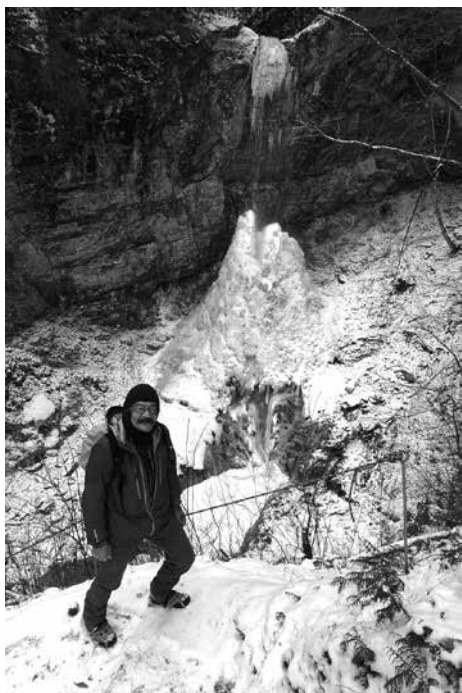
### 遠

山郷の谷間に住んでいると、冬場は太陽を拝める

時間が少ない。1〜2月なら日照時間は8時間弱、地形などに左右されるから凡そである。何しろ狭い谷間だから、お日様の顔の出し加減によって、寒暖の差はとんでもなく大きい。時によっては20度近く差がある。

さて、遠山郷の中心を貫く遠山川とその流域は、大沢岳から兎岳、聖岳、上河内岳、茶臼岳、易老岳、光岳、加加森山、鶏冠山と続く赤石山脈南部主稜線の山々を源頭として、各沢はいずれもが山頂へ続くルートである。大沢岳には北又沢深<sup>しん</sup>沢から、中盛丸山へは北又沢大沢、兎岳へは兎洞という具合である。大沢岳主稜線から離れた丸山、奥茶臼尾高山への馬蹄形稜線伽藍内にある北又沢をつくる何本かの支沢は短いが面白そうである。

聖岳から、上河内岳、茶臼岳、易老岳、光岳の稜線伽藍に囲ま



1週間前には完全結氷まであと70cmと迫っていたと聞いたが、寒波が去り雨後、残念ながら崩壊の滝。3分の1が解けてしまった滝と著者。1月30日撮影

れた遠山川本谷にも魅力的な沢が沢山ある。奥まっつてはいるが二ノ股沢、易老沢、諸河内左保など人知れずの谷筋で面白そうである。これらは3000m峰を盟主とする赤石山脈南部の深山幽谷である。

南ア国立公園の本筋へ筆は進んでしまったが、今回の話題は伊那山脈を越える峠道と、ルートになっている沢筋の水瀑探しである。まだ登られていない滝もあるのではないかと思ひ、周辺にいろいろ探りをいれている

ところだ。遠山周辺の古地図にはいにしえの峠道が幾つも記されているが、沢筋が道となっているルートを探し出しては、滝を見つけて登ろうというプランである。

**ま**ず手始めは、数百m歩けばついてしまふ安近短の代表、矢筈洞の『禍誤除けの滝』落差28mである。南信州の中心地飯田の街から、東を臨むと赤石山脈の前衛、伊那山脈が南北35kmに連なる。標高は2000

mに満たないが屏風のように立ちほだかり、矢筈峠は一見では見分けられない。この道は遠山郷側上村程野の集落が、生活必需品購入と養蚕等農産物出荷の必要から、江戸末期より明治初頭にかけて細々と柳沢沿いに矢筈峠への道を開設したと聞く。峠からは矢筈洞を下り、往復には大変な難儀をしたと言う。伊那山脈は稜線上の起伏が小さく、鞍部が見つけにくい。ただ一つV字に深く切れ込んだところが矢筈峠である。矢筈と付けた意味は文字通り、矢羽根の切れ込んだ形そのままである。伊那山脈の峠道はその多くが沢筋の道である。

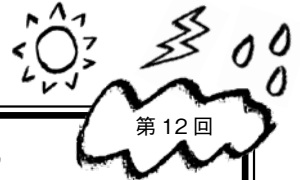
西側喬木村籍の矢筈洞の沢筋に二つの難所がある。その一つがここに紹介する『禍誤除けの滝』である。難所に際し、わざわざいやあやまちを排除してくれる高度差28mの空中滝なのである。もう一つがさらに奥にある『高さこの滝』である。7段

の小中の滝が続き、最後に25mの『高さこの滝』が鎮座、さらに10mの滑滝がひかえる。川底から高さ150mもの難所は、岩壁の横断バンドを棧橋でつなぎ、鉄棒を打ち込み丸太を掛けて渡ったとするされる難工事でもあった。峠への道は現在、『禍誤除けの滝』上部の千畳岩から先はない。ほとんど獣道化して判別もできない。ドロインを飛ばして探そうとしたが、谷底でGPSの電波が届かず、断念。

**し**ずれにせよ暖冬のまま、雨がきて1月中旬にはもうちよつとで完全結氷成らず。悔し紛れに滝の下段を裏側に回り込もうと、凍った川筋を渡ろうとしたその一歩で氷に亀裂、ズズズンと腰近くまで水没！ 禍ではなくあやまちは自己責任であるということに。

※三遠南信道矢筈トンネルの喬木村入口ループに乗らず、旧道赤石林道へ進み300m程進入した箇所に大きな案内看板がある。そこから滝を目指す。(駐車スペース5〜6台)





## 山登りのための やさしい気象講座

気象予報士・野尻英一

### 天気予報の的中率

気象は難しく  
微妙・地域差がある

山に出かけるときには天気予報をチェックするが、天気予報はどのくらい当たるのだろうか。図1をみてみよう。天気予報の的中率は向上していて、現在の気象庁の天気予報では、翌日に雨や雪が降るかどうかについては85～86%も当たる。でも例えば、東京の降水量1mm未満の日数は年264日な

ので、特に考えずに「明日は降らないでしょう」と言い続けていいの見方もできるかもしれない。私などは的中率が少しずつ上がっていることに気象技術の進歩を感じるのが、それだけ気象というものには難しく微妙なものがあるのだろう。

実は天気予報の的中率は地域や季節によっても違いがある。図2をみると、だいたい夏の的中率が下がる傾向があるが、北海道は逆

に夏の的中率が最も高い。これは例えば関東の夏は雷が多いといった列島各地の季節ごとの気象の特徴や複雑さを反映しているのだが、詳しくはまたの機会にしよう。

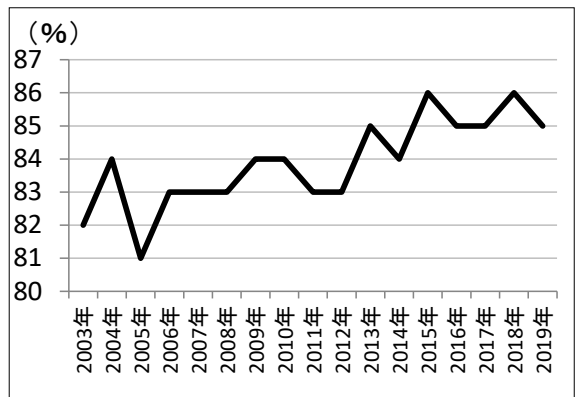
登山では、山の天気は平地の天気と違うことも多く、下界で好天でも雨や雪が降ったり、風が強いこともあるので、単純に天気予報を聞けばいいというわけではない。特に上空に寒気が入ると冬は

#### 山梨の雁ヶ腹摺山とのかげい

天気予報が当たるようになってしまったと言っても山では外れること

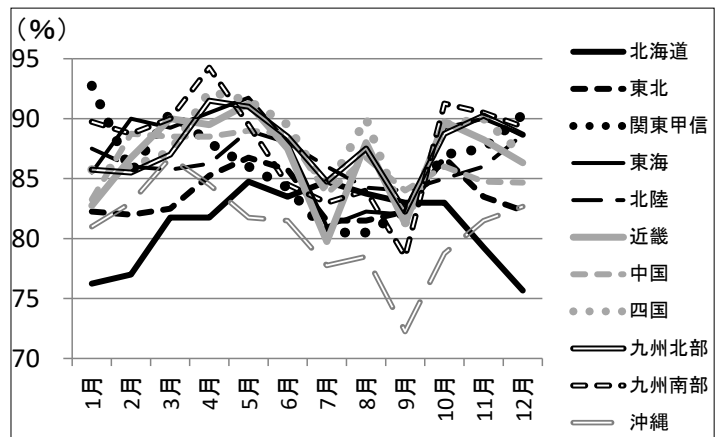
風雪、春や秋は季節外れのみぞれや氷雨、夏は雷といった悪天候になりやすい。天気予報を聞くときは天気マークだけでなく解説をしっかり聞くことを心掛けたい。

図1 天気予報の的中率の推移



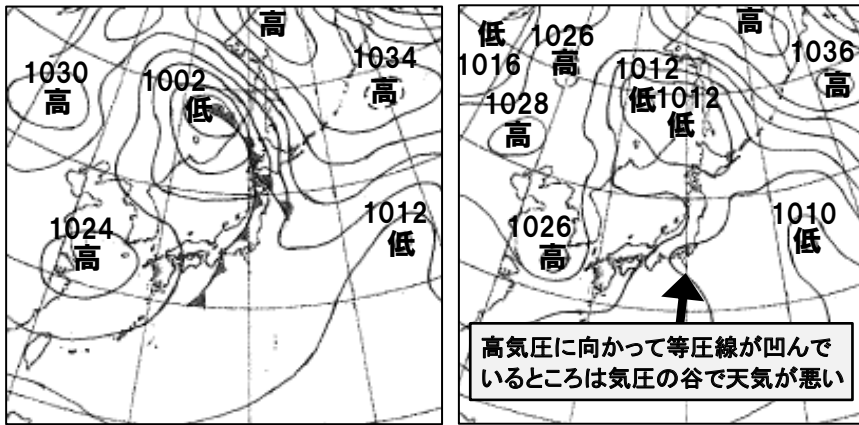
※午後5時の予報による翌日の降水の有無の的中率  
(気象庁ホームページより作成)

図2 月別の天気予報の的中率



※午後5時の予報による翌日の降水の有無の的中率。2017年～2020年平均  
(気象庁ホームページより作成)

図3 雁ヶ腹摺山での観天望気山行時の天気図



左:前夜(2018年11月9日21時)、右:当日(11月10日15時)

もある。今回はその例を紹介したい。私が2018年の11月に東京 芳山の「品川山の会 さんかくてん」の皆さんと山梨県の雁ヶ腹摺山(1874m)に観天望気山行

で登った時のことだ。図3の左が前夜の天気図。前線が通過中で弱い雨が降ったが、翌日は前線が東に出て西から移動性高気圧が張り出すとみられ、天気予報も晴天を

予報していたし、私もそう判断した。朝、集合場所の大月駅は標高約360m谷底にあり、どんより低い雲に覆われたが、これは前夜の雨で空気が湿りこれが朝の冷え込みで霧になったもので、天気回復の朝には良くある。事実この日もタクシーで登山口の大峠(1560m)に登っていくと間もなく霧の上に快晴の空が広がった。

「今日も雲がなくて残念だね」と話していたが30分も経たないうちに下の雲が風で吹き上がってきた。「あれ、天気が悪くなるのではないですか」と言う参加者もおられたが、雲海の雲が吹き上がってやがて消えるのは高気圧が張り出すときの一つのパターンなので私は「そのうち晴れます」と予想したのだが、雲はますます濃くなり雨粒も数粒落ちた。

図3右が当日の天気図で、前線が東シナ海の高気圧の張り出しが弱く、関東の南には弱い気圧の谷まで発生していた。その日は大月駅のあたりでは日差しがあった時間があったが、山はずっと雲と霧だった。山では天気予報を過信せず、その場の風や雲の変化に素直に対応することの大事さをあらためて感じた。雲が吹き上がれば「天気が悪くなるのでは…」と感じることが山での基本動作なのだ。山でのそんな気象の感性を持つには、やはり気象のちよつとした知識や理解があると役立つし、それは登山の楽しみを広げることになる。「品川山の会 さんかくてん」の皆さんから「気象への興味が増えました」と言っていたこともあり、とてもうれしい。

予報していたし、私もそう判断した。朝、集合場所の大月駅は標高約360m谷底にあり、どんより低い雲に覆われたが、これは前夜の雨で空気が湿りこれが朝の冷え込みで霧になったもので、天気回復の朝には良くある。事実この日もタクシーで登山口の大峠(1560m)に登っていくと間もなく霧の上に快晴の空が広がった。

「今日も雲がなくて残念だね」と話していたが30分も経たないうちに下の雲が風で吹き上がってきた。「あれ、天気が悪くなるのではないですか」と言う参加者もおられたが、雲海の雲が吹き上がってやがて消えるのは高気圧が張り出すときの一つのパターンなので私は「そのうち晴れます」と予想したのだが、雲はますます濃くなり雨粒も数粒落ちた。

図3右が当日の天気図で、前線が東シナ海の高気圧の張り出しが弱く、関東の南には弱い気圧の谷まで発生していた。その日は大月駅のあたりでは日差しがあった時間があったが、山はずっと雲と霧だった。山では天気予報を過信せず、その場の風や雲の変化に素直に対応することの大事さをあらためて感じた。雲が吹き上がれば「天気が悪くなるのでは…」と感じることが山での基本動作なのだ。山でのそんな気象の感性を持つには、やはり気象のちよつとした知識や理解があると役立つし、それは登山の楽しみを広げることになる。「品川山の会 さんかくてん」の皆さんから「気象への興味が増えました」と言っていたこともあり、とてもうれしい。

## スポーツのひろば

2021 No.535 3月号

定価 290円  
年間購読 3,600円

### CONTENTS

特集 **スポーツはなぜ必要なのか**

ヒトの健康と身体活動・スポーツの意味するもの

これからのオリンピック・パラリンピックのあり方を問う

スポーツ文化を貶める「改正スポーツ振興投票法」は問題あり

スポトピ リレーの最終走者はなぜ「アンカー」と言う？  
テニスの1球目は、なぜサービスと言うのか？

発行 = 新日本スポーツ連盟

ホームページ  
<http://www.njsf.net>

東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル 402  
TEL 03-3986-5401 FAX 03-3986-5403

## 会報紹介

送付ありがとうございます！

日本勤労者山岳連盟の事務所には毎日のように会報誌が届く（2020年10月～12月で全115種）。全国連盟が各会の山行はじめ活動状況を知る機会となっていて、例えば会報掲載の事故報告が遭難対策部の活動に生かされたり、山行報告が本誌・登山時報の誌面となったりしている。

送付方法は、郵送（会から直接 or 地方連盟でとりまとめて、当月分 or 数ヶ月分まとめて）、メールにPDFを添付、メールにリンク先を記載という3通りで、全体の3分の1がメールでという印象。発行頻度も月刊、季刊、年報とそれぞれだ（月刊と年報どちらも発行する会もある）。ここでは地方連盟ごとに一覧を掲載する。その他、記念誌も送付いただいている。

●道央 小樽勤労者山岳会「樺」  
／札幌中央勤労者山岳会「あじさい」  
／札幌山びこ山友会「あるぶ」  
／ハイキングクラブみどりの風「あるびーの」  
／百松山岳会「百松山岳会だより」

●道北 旭川勤労者山岳会「ヌプリ」

●道東 帯広勤労者山岳会「茶房多種」

●青森 青森勤労者山岳会「ひなざくら」  
／弘前勤労者山岳会「さんせつ」

●岩手 アウトドアを楽しむ会「ちんぐるま」  
／釜石勤労者山岳会「あゆみ」  
／盛岡山友会「あかげら」

●福島 相馬山歩会「相馬さんぽ」

●群馬 太田ハイキングクラブ「Hiking News」  
／前橋ハイキングクラブ「あるきんぐ」

●栃木 宇都宮ハイキングクラブ「かたくり」  
／つむぎ山悠会「つむぎ」

●埼玉 大宮勤労者山岳会「大宮労山」  
／熊谷トレッキング同人「同人通信」  
／秩父アルペンクラブ「秩父アルペンクラブ」  
／新座山の会「山道」  
／飯能勤労者山岳会「会報」  
／深谷こまくさ山の会「こまくさ」  
／埴歩富士見山の会「埴歩歩」

●東京 あらかわ山の会「したまち」  
／江戸川の会「FACE」  
／大田ハイキングクラブ「ざっそう」  
／板橋勤労者山岳会「トレール」  
／ぐるうぷ山人「おむすび」  
／狛江山遊会「こめつが」  
／墨田山の会「すみだ」  
／杉並勤労者山岳会「山波」  
／杉並山の会「さわらび」  
／品川山の会「さんかくてん」  
／さんかくてん「さんかくてん」  
／さわらび山の会「早蕨」  
／多摩みどり山遊会「みどり通信」  
／野火止山の会「のびどめ」  
／プリムラ山の会「プリムラ山の会」  
／めぐろ山学クラブ・仲間「山窓」

／民医連東京共済山の会「山の会だより」  
／むさしの山の会「むさしの」  
／町田グラウス山の会「雷鳥」  
／わらじの仲間「わらじ」

●千葉 こまくさハイキングクラブ「こまくさ便り」  
／ふわくハイキングサークル「ふわく」

●神奈川 川崎ハイキングクラブ「りんどう」

●山梨 山梨山の会「会報」

●新潟 みちぐさ山の会「ハイキングだより」

●富山 三島野スポーツクラブ「会報」

●石川 金沢ハイキングクラブ「会報」

●静岡 伊豆ハイキングクラブ「のいちい」  
／静岡勤労者山岳会「れいほう」  
／静岡安倍つ子山の会「あべっこ」  
／麗峰山の会「れ



# フスハハ

No.167

村松 孝一



放射能測定登山

●京都 乙訓山の会「ぎいる」  
／京都右京勤労者山岳会「ふみ  
あと」／京都左京勤労者山岳  
会「ルンゼ」／京都明峯勤労者山岳  
会「めいほう」／WAO亀岡「W  
AOニュース」／「燈」／京都伏見  
山の会「伏水」／西山ハイキン  
グクラブ「にしやま」／福知山  
山の会「ぼっか」／舞鶴勤労者  
山岳会「きずな」／ハイキング

●大阪 きたろうハイキングク  
ラブ「きたろうニュース」／泉州  
勤労者山岳会「やまなかま」／  
高槻勤労者山岳会「ポンポン山」  
／豊中勤労者山岳会「岳友」／  
西淀川勤労者山岳会「にしよど」  
●兵庫 伊丹勤労者山岳会「さ  
さ笛」／やまぼうし「やまぼうし」  
／明石山の会「子午線」／甲山

●島根 松江ハイキングクラブ  
「松江ハイキングクラブだより」  
●岡山 倉敷ハイキング倶楽部  
「しらかべ」／山陽カルチャーマ  
ウンテンクラブ「ヤッホー」  
●広島 呉勤労者山の会「やま  
のこ」／県北山の会「緑風」

●福岡 大牟田ハイキングクラ  
ブ「あしあと」／あだると山の会  
「緑憩」／RKAC「ちつこの風」  
／久留米山の会「来目」／みど  
る山の会「みどりの山」  
●愛媛 山の子「山の子」  
●高知 あるぷハイキングクラ  
ブ「あるぷ」／高知勤労者山岳  
会「いごっそう」

●滋賀 比良雪稜会「ぶな」  
●愛知 ふわく山の会「ふわく」  
／半田ファミリー山の会「もみ  
のき」／東三河山ぽ会「山ぽ会」

●奈良 奈良勤労者山岳会「子  
鹿」／奈良ハイキングクラブ「あ  
おがき」／有田山の会「やまどり」

●山口 登山ハイキングサーク  
ルコンパス「こんぱす」／山  
口県教職員登山サークルぼれば  
れ「ぼればれ」  
●香川 善通寺山の会「こめつつ  
じ」／高松勤労者山の会「高松労  
山」／山岳同人・五色の峰「会報」

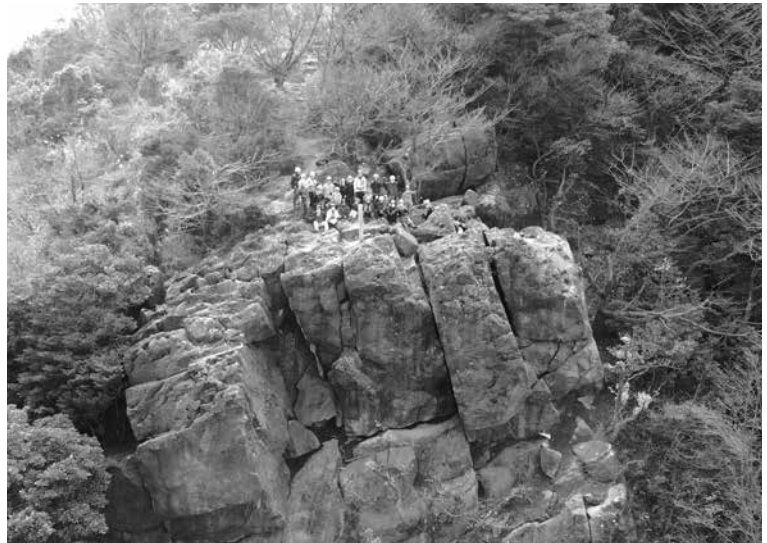
クラブ舞鶴山遊会「分水嶺」／  
山城・山の会「やましる」／丹  
後山の会「よさのやま」／らく  
なん山の会「らくらく」

勤労者山岳会「YAMAGOI  
A」／神戸カタツムリの会「カ  
タツムリ」／宝塚山の会「とも  
がら」／高御位山遊会「高御位」  
／西神戸山の会「三角点」／西  
宮北口勤労者山岳会「西宮北口  
労山」／西宮明昭山の会「明昭」  
／山の会アルプ「あかり」

●佐賀 からつ勤労者山岳会「会  
員ニュース」／佐賀勤労者山岳  
会「やまびこ」  
●長崎 長崎あゆみハイキングク  
ラブ「あゆみHiking Club」／長  
崎カルチャー山の会「あおぞら」

# 「国見岩周辺環境整備記念 安全登山楽習会」を開催

栗原賢一郎 マップ山の会／福岡



国見岩（ドローンで撮影）

## 皿倉山の国見岩周辺の 整備活動

コロナ禍の影響で、北九州の中心にある皿倉山の国見岩に同志が集まってきた。

先達が開拓して岩登りの訓練をしていた場所は、後輩として

は恥ずかしいばかりの状態になっていた。昔快適だったゲレンデは、少しのスペースを残して草木が成長し、ボルトやハーケンはその中に隠れ錆ついて、昔の面影はなくなっていた。先輩の指導を思い出しながら同志と共に、感謝の気持ちで40年、50年前の記憶をたどって草刈りや木々の剪定、登山道の整備、ハーケンやボルトの評価、打ち替えなどを行った。

整備活動が本格化してきたのは、コロナ禍の自粛が本格化してきた頃だ。地元の山での活動しかできなくなった状況が、同じ思いの仲間を集めることになった。いろいろな人達のご意見を伺い、登山会員を中心に岳連や一般の登山者を巻き込みながら、メンバーも整備の規模も膨らんでいった。

活動は週に2〜3回、色々な人が入れ替わり立ち替わり参加して続けられた。草刈り等は6月にはほぼ目途が立ち、7月にはアンカーボルトの整備に移行

した。8月中にはそれもほぼ終わり、全体の整備状況を確認・評価するためにクライミング講習会などを実施し、初めの段階の整備を終了することになった。8月30日には有志で企画したクライミング講習会を行い、多種多様な参加者が20名近く集まった。当日は2つのグループに分かれ、クライミングの基本的な流れなどを講習することができた。

## 「安全登山楽習会」を開催

国見岩周辺環境整備活動の総仕上げとして、全国連盟から川嶋事務局長をお招きし、11月28日、29日に講演会、現場視察とクライミング講習会を開催した。川嶋事務局長によるクライミング講習会は昨年に続いていること。今回は大和田全国理事（国際部）が同行、クライミングを披露されるなど多くの女性参加者が盛り上がる講習会になった。

初日（28日）は午後から皿倉ビクターセンター会議室で「冬山登山初級者講座」がひらかれた。川嶋事務局長に、最近の年配者の冬山登山の実態や労山山岳事故対策基金について等を講演してもらった。29日は国見岩で「岩場での基礎技術講座」を行い、午後には皿倉ビクターセンター会議室で講演会「最近の山岳遭難事故について」を30名の参加者で開催した。ここでは、最近の山岳遭難のデータや具体的な事故事例、ココヘリの活用事例など紹介があった。私たちにとって大変切実な内容で、充実した時間となった。

講習会の詳細は福岡県連のホームページに今すぐアクセス！

## 私が国見岩整備活動に参加した経緯

始まりは40年ぶりの登山。定年退職後、まず始めたのは身の回りの物の整理、「必要か？」



岩場での基礎技術講座（2020年11月29日）

「山に行こう！」

これを機会に単独行を始め「今始めれば、まだまだこれから登れる！」心は山野を駆け巡る。車を改造、古い

道具を駆使し、まず九州の山、市房、大崩、国見、と峠を下ライブして幕営、登山を再開した。ここで昔の先輩たちの言葉「後輩の育成！」がよみがえる。若い頃、目標に向かって同志とまっしぐらだった当時、先輩に言われ続けていた言葉である。山で出会った先輩達にはただ感謝しかない。地元皿倉山で毎週たくさん

今でも宝物だ。

昔の山の知り合いに思い切つて声をかけ、40年ぶりに山の会に入会。このころから、彼の人脈に加わり、色々な山行や行事にかかわることになる。そこで衝撃の出来事があった。2019年11月に開催された安全登山技術講習会で、

40年の間に登山の世界は見事に変容していたことに気づいた。カルチャーショックを覚え、初心に帰り、学びが必要だと大きな意欲がわいてきた。道具を一新、知らない用語を聞き分けられるよう学び、新しいクライミングを体で覚えようと決意。新しい仲間（知生たち）とクライミングに取り組み、もうすぐ1年になる。

今年、感染流行で他県への山行ができない状況になり、地元皿倉の国見岩で岩トレを開始した。皿倉に感謝、先輩たちに感謝、今の仲間



追悼

# 高橋伸行さんの想い出

大澤辰雄

前全国連盟副理事長  
元埼玉県連盟理事長、事務局長

昨年12月末に交通事故により、90歳で逝去された。突然の訃報に心を痛めている。

さて、高橋伸行さんは労山全国連盟草創期の1971～72年度理事長、1976～1981年度会長として8年にわたり埼玉選出の役員として全国で活動された。

高橋さんとは、私が所沢ハイキングクラブに入会した1972年からの付き合いである。

高橋さんは、1972年度総会で理事長として「50万人の労山をめざす」「ハイキング愛好者を労山に組織しよう」と提唱した。この提案から全国に多くのハイキングクラブが結成され、現在に至っている。

その前に、高橋さんが実践し

て全国で初めて創ったハイキングクラブの経験がある。1970年に、所沢労山（現 橡山岳会）会長として若い会員の山へ

のかかり方の違いに着目し、会の中にハイキング部を設け、

尾瀬バスハイキングをバス3台130名で企画・実施した。その

時の参加者に呼びかけ、40名の仲間が参加して所沢ハイキングクラブが結成された。私が加

入した1972年には、所沢ハイキングクラブは100名を超えるクラブになっていた。

その後、全国にハイキングクラブが結成され、労山の仲間が増え、高橋さんの役員任期中には、連盟組織は1971年の7

300人から1982年には1万6千人となって9千人増加し

た。

同時に、労山機関誌「山と仲間」の発行、一般書店への配本、

さらには、1973年株式会社山岳スポーツ研究所を設立、代表として「山と仲間」の編集業

務委託、群馬県みなかみ町に、勤労者の立場に立ったレク活動

の拠点として、湯の小屋温泉葉留日野山荘を、労山とスキー協

会員から山小屋債権を募り開設した。

高橋さんからの「組織を発展させるには活発な山行はもちろ

んの事、ただ一回の例会（室内集会）も粗末にしないこと、例

会は楽しく、学べるものであること、会報は皆の参加で編集・

必ず発行。会の幹部は寝ても覚めても頭をひねって考え抜くこ

と無しに、よい会づくりは出

来っこない」との活動の教訓を胸に刻んでいる。

県連や全国連盟と、私が今でも

労山活動を続けられているのは、高橋伸行さんのお陰である。

心からご冥福をお祈りします。

## 高橋伸行（たかはし・のぶゆき）さん

### 労山での経歴

1930年1月7日生まれ

1968年頃 所沢労山会長

1970～71・73年度 埼玉県連盟会長

1971～72年度 全国連盟理事長

1973年 株式会社山岳スポーツ研究所代表

湯の小屋温泉葉留日野山荘の開設管理運営

1976～81年度 全国連盟会長

2013年 葉留日野山荘の閉鎖

2020年12月 逝去

### 著作

『上高地・槍・穂高』（共著）

1961年／朋文堂

『白馬岳・後立山連峰』

1968年／山と溪谷社

『写真で見る登山入門』（共著）

1973年／日本文芸社

『登山の基礎知識』

夏山から冬山まで一楽しみ方と登り方』

1983年／協同出版



2010年の労山創立50周年記念式典で鏡割りをする高橋伸行さん（中央）

## 第11回理事会、討議事項

- 4日 全国事務所の仕事始め
  - 6日 遭難対策部会
  - 14日 登山時報編集委員会
  - 18日 自然保護委員会
  - 19日 三役会議
  - 同日 組織部会
  - 26日 労山基金運営委員会
  - 28日 第11回理事会
- ①第34期第1回評議会の議案について  
第2次議案を検討し、評議会開催に向けた準備体制を確認した。
- ②資産（不動産）管理のための一般財団  
評議会議案として理事会で確認した。



長野県、湯川のアイスクライミング



伊豆半島、城ヶ崎シーサイド



JAPAN WORKERS' ALPINE FEDERATION

## 専門委員会活動報告

2021 ①

## ○労山基金運営委員会

## 三倍交付の要件を

## 確認して！

12月の交付申請は17件と少なかった。ここでは三倍交付の要件について改めて取り上げる。三倍交付は①歩行時間5時間以内、②標高2km以下、③日帰り、④一般登山道。⑤岩、沢、雪、海外を除く、の5要件を、昭文社刊の最新のエリアマップまたは地元で発行されたコースタイム入りのマップなどで確認出来

れば認められる。

今回、あるトレールに参加途中でオオスズメバチに刺されて救急搬送された事例で三倍交付の申請があった。トレールランニングでの事故では？と思う、差し戻したところ、再審査の申請があり、トレールランでない事は確認された。一方、計画書によるとロングコースで、5時間以内で歩けるとは思えない。事故のあった地点が登山口から5時間以内でも、計画が5時間を超える場合は要件を満たしているとはいえない。そのため三倍交付は認定せず、通常交付とした。他にも1件、三倍交付の申請があったが、コースタイムオーバーで通常交付とした。

(伊藤正勝／労山基金運営委員)

## ○山筋ゴーゴー体操推進委員会

## 山筋体操を広げて

## いきましよう

コロナの状況を見通して、1月と2月の委員会は中止とした。今はほとんどの人が「外出で

きない」「集まらない」「山に自由に登れない」の状態である。この様な時こそ山筋ゴーゴー体操が広がるチャンスではないか。室内でも屋外でも、わずかなスペースさえあれば、一人で、手軽に、いつでもテキストやDVDをみながら筋力運動を行うことが可能だからだ。ぜひとも山筋Tシャツを着て運動して欲しい。また、その様子をFBやLINEにアップし、山仲間知らせるといいう取り組みはどうだろう。

サポーターの皆さんはもとより、全ての会員が創意工夫し、所属山の会や、会員に山筋ゴーゴー体操を広げることをお願いしたい。

(久保典子／山筋ゴーゴー体操推進委員長)

## ○組織部

## SWOT分析による

## 課題抽出の試み

組織部会では、2019年10月以降、労山組織の現状を客観的に評価し、組織強化に必要な

課題を見つける試みを行ってきた。用いたのはSWOT分析という手法で、労山の強みと弱みを明らかにして、外部環境の機会と脅威にどう対応すべきかを考えるものだ。考え方の特徴は、「強みを機会に生かす」、「強みを一層強固にする」、「弱みを強みに変える」、「弱みと脅威の対立を回避する」の4つだ。

部会では、手法の勉強から始まり、地方連盟の総会資料を取り寄せ、それを部員が分析して持ち寄るなど、全国の実情を把握する努力も行った。分析の評価軸は、労山の活動理念である設立趣意書の5項目とした。

分析の結果は、(1)次世代発掘、(2)独自性発揮、(3)情報化推進の3つの戦略テーマに沿って、13項目の具体的な取組課題を導いた。また、戦略の成否を決める重要成功要因として、①設立趣意書の検証、②幹部養成の取組、③多様性ある組織運営、④社会の信頼獲得、⑤IT社会への適応の5つの課題を抽

出した。なお、ここに示したのはあくまで内部検討の段階であることを申し添える。

(渡邊健治／全国組織部員)

## ○遭難対策部

### 多発する室内ジムでの

### 墜落事故

11、12月は室内ジムでの事故が2件発生した。1件は、1・

5m程の高さから墜落し胸椎圧迫骨折。1件は、オートビレイ器の付け忘れによる事故。室内ジムも休業期間があったが、全事故件数は11件と増加傾向にある。6月にもオートビレイ器のセットミスにより腰椎破裂骨折があった。各施設も対策を講じているが、使用者側の単純ミスが原因の事故は避けていただきたい。

組織自体の高齢化が進んでいるが、今回も50代以上の事故者は、全体の9割に達した。70代の事故者も転倒・滑落・訓練で5名。原因としては転倒が7名(うち6名女性)、滑落3名。ス

12月3日から12月31日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名
1	11/01	岐阜	79	男	花房山	無雪期	滑落 ストックが落ち登山道を滑落	腰椎椎体骨折
2	12/02	埼玉	72	女	秩父琴平	無雪期	転倒 落ち葉で道が見えず踏く	膝靱帯損傷
3	11/15	京都	65	女	雪彦山	無雪期	体勢 鎖を握り滑り岩に当たった	薬指第一関節骨折
4	11/28	北海道	41	男	カミホロカメットク	冬季登攀	落石 ハーケンが抜け補強中に落石	肋骨・上腕骨折
5	12/20	徳島	64	女	袴腰岳	無雪期	転倒 木の根で転倒	左肘関節脱臼
6	12/02	滋賀	56	男	宮之浦岳	無雪期	体勢 スリップし足首を打撲	靱帯損傷
7	12/06	奈良	67	男	赤石ヶ岳	無雪期	転倒 スリップし転倒、足首を打撲	靱帯損傷
8	12/06	愛知	35	女	霊仙山	無雪期	転倒 足を滑らせ転倒	右足首捻挫
9	11/18	千葉	60	女	室内ジム	人工壁	墜落 1.5m位から墜落	胸椎圧迫骨折
10	12/12	京都	70	女	釈迦岳	無雪期	転倒 小石に乗り転倒	左遠位端桡腕骨骨折
11	12/13	山梨	71	男	大峠	無雪期	滑落 路肩を踏み外す	腓骨骨折
12	12/02	福岡	66	男	宝満山	無雪期	体勢 バランスを崩して	左膝半月板損傷
13	12/13	茨城	65	男	籠岩	無雪期	滑落 高巻中に滑落	肋骨・腰椎突起ヒビ
14	12/05	京都	55	男	御在所岳	無雪期	墜落 アブミから転落	外傷性くも膜下出血
15	12/11	東京	51	男	室内ジム	人工壁	墜落 オートビレイの忘れ	手のひらのヒビ
16	12/13	奈良	71	女	蓬莱峽	訓練	転倒 足場の岩が崩れ転倒	左肩鎖骨骨折
17	12/13	静岡	60	男	鹿島槍ヶ岳	積雪期	凍傷 下山後気づく	凍傷
18	12/27	長崎	59	女	戸町岳	無雪期	転倒 足を滑らせ転倒	右外踝部剥離骨折
19	12/31	東京	59	男	権現岳	積雪期	凍傷 下山後気づく	凍傷 2度

事故一報の受領順で掲載

リップやバランスを崩して、手をついたり、足を捻ったりの体勢での怪我が3名。今回は、北海道で冬季登攀の事故や下山後に気付いた凍傷事故も2件発生。

積雪期の登山も始まっているが、凍傷については、登山中に手袋の中を確認して変化に注意したい。所属連盟は、京都3名、奈良・長崎が2名、他県連は1名。

単純なミス防止のためにも相互安全確認を基本に、常に行動前にダブルチェックを心がけられたい。

(石川昌／全国遭難対策部長)

	30代	40代	50代	60代	70代	80代
男性	0	1	4	4	2	0
女性	1	0	1	3	3	0
合計	1	1	5	7	5	0

	無雪期	積雪期	登攀	冬季登攀	人工壁	訓練
男性	6	2	1	1	1	0
女性	6	0	0	0	1	1
合計	12	2	1	1	2	1

	墜落	転落	滑落	転倒	体勢	落石	凍傷
男性	2	0	3	1	2	1	2
女性	1	0	0	6	1	0	0
合計	3	0	3	7	3	1	2



## 那須岳と白山を結ぶ 中央分水嶺を歩く 全 115 ルートの踏破

高見沢 賢司（山の会ながの）著

1980 年～ 2018 年の間、山を歩き続けてきた著者が、山形県から滋賀県の山まで続く「中央分水嶺」を意識し始めたのはここ数年という。登山道ではない分水嶺や登山できない山（浅間山など）もあるため完歩ではないと謙遜するが、ほぼ完歩してこの 300 ページ近い記録をまとめた。著者によると、中央分水嶺を完歩した先達は記録では 2 名で、それ以外にも数名はいるそうだ。

多くの山行が数名のテント泊。1998 年 10 月の那須連峰で強風に悩まされ、予定変更して幕営地以外でのテント泊になったと自戒する。2000 年 3 月の福島県と栃木県県境の荒海山（1580m）では雪庇を踏み抜き、数十メートル流される。幸運にも深く埋没せず、同行の二人に掘り出されて脱出。当時は長野県連盟連対委員長であり、恥ずかしい限りと述懐している。2006 年 11 月、浅間山の前衛峰・黒班山（2414m）は、親しい同行者 M 氏と「定年後はどうしようか」などと語り合いながら下山したようだ。著者は退職後も中央分水嶺トレースを伸ばすため、岐阜県・福井県への登山を継続中。「山の会ながの」（旧名称・長野勤労者山の会）会員。



A4 判／2019 年 9 月 8 日発行

（本誌・田上千俊）

## FROM EDITOR

この一年、コロナ禍という「山行自粛」も避けられない厳しい状況のなかでの昨年、労山創立 60 周年を迎えることができた、あわせて本誌でも「労山創立 60 周年に寄せて」を連載し、これまでの労山運動を支えた諸先輩の方々に 60 年の諸活動の累積を寄稿していただき記録として伝える事ができました。今号でもって終了します。ご協力に感謝します（橋口）

登山の歴史・流れを止めるものは戦争である。同時に今流行しているコロナも同じ。各労山組織で多面的な工夫で山行を続けている。我々登山団体の命は“山行”である。山行しない登山団体は歴史を創れない。この戦争に打ち勝つ努力と成果が 1 年後には出ることを期待したい。（田上）

コロナ・コロナで世の中がパニック状態で緊急事態宣言が発出されているにもかかわらず、緊迫感・切迫感が希薄である。最近ごく近くで病院、高校、介護施設のクラスターが連続発生し、一気に緊張感が迫った。コロナと共存、を都合解釈していないだろうか。（小倉）

1 年前、新型コロナは対岸の火にも見えたのだったが、今日ではいかに感染を避けて生き長らえることができるか、わが身に降りかかる大問題だ。無症状の感染者を見つける検査と保護・隔離策の早急で十分な拡充を！ トリアージは許されない。（鈴木）

また一つ歳をとった。あと一つで、統計上も老人の仲間入り。世の中では、「老人を敬え」といわれるが、それは経験が豊富で世の中の役に立つから。「あと 1 年しかないが、そんな老人になりたい。しかし、なれるだろうか」と思うこの頃。（酒井）

ここ数年、山とは無縁の生活に。気持ちを切らさないために「山の本」に挑戦することを新年の決意とした。『北岳山小屋物語』を書店に注文し、読み始める。いままで簡便に利用してきた山小屋がいかに大変か思い知らされた。（塩田）

今月号はクマ特集を組んでみた。クマが人間や農作物に危害を加えたり、山でクマに遭わないためとかクマに遭った時の対処法を想定された方には意外だったと思うが、クマが他の動物の死がいを食べる「森の掃除屋」の習性を持っていたりと興味深い記事だった。（今野）

## 登山時報

©禁無断転載

3月号 No.553 2021年2月15日発行

編集長 今野善伸  
副編集長 橋口晴彦  
編集 酒井正裕、田上千俊、渡辺明（進行）  
校正 小倉迪夫、塩田善次郎、鈴木幹雄  
DTP・デザイン 来住真太

発行人 浦添嘉徳  
編集人 今野善伸  
発行 日本勤労者山岳連盟  
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24  
TEL 03-3260-6331 メール jwaf@jwaf.jp  
印刷 株式会社 ウイング・コア



Kurihara Eiichi



## 栗原英一さん

1949年東京都足立区生まれ、姉と妹に囲まれて育つ。工学院大学で山岳部に入部。岩・沢・雪山の基本を学ぶ。卒業後、父親の勧めで墨田区役所に入庁。11年前に定年退職したが、現在も再雇用で働いている。妻と子供3人。杉並山の会に所属。筆者は昨年初めて栗原氏と一緒に山を歩いた。その際に「まだまだ歩けるな」と感じた。古希を過ぎても尚、山も仕事も現役の登山者である。

### 東京都連盟の事務局長

## 穏やかな人柄、最大の会員数を擁する連盟の女房役

山との出会いと

登山入会のきっかけ

最初の山登りは中学生の時だった。

大学卒業後に区役所に勤務するようになり、図書館、戸籍課、国民年金課、そして「人生はさまざま。大変だあ」と感じた生活保護課と、各部署で働いた。休暇は比較的自由に取得できたので、5月連休や正月休みはすべて山登りという生活が何年も続いたそうである。

1981年にパキスタンの山に登ろうと計画したところ、入山には「日本を代表するような山岳団体の推薦」が必要だということになり、登山加盟の「杉並山の会」に入会した。入会后、会長を2期務める。

2010年、都連盟理事に就任

2010年、都連盟が主催して奥秩父で行われた沢登り教室で死亡事故が発生した。その救出に当たった埼玉県防災ヘリが墜落して救助隊員5名が死亡し、さらに現地を取材した記者2名も死亡するという山岳界を震撼させる事態となった。

同年、栗原さんは「いつまでものんびり山登りをしていたかったが、他の会の様子も知りたい」という気持ちで都連盟の理事となり、その後の執行部交代に伴って2012年事務局長となった。

心情は「どの山でもOK」

「好きな山は？」と聞くと「自

分の好きな特別の山はありません。誘われるままに登山を楽しんでいる」と返ってきた。長年、写真撮影が趣味で、穂高をテーマに撮っている。都連盟活動のスナップ写真の多くが彼の手によっている。コロナ禍が終息すれば「黒海とカスピ海に挟まれたカフカス山脈※に行ってみた」と大きな夢を語る彼の眼は限りなく穏やかで優しい。

(聞き手・田上千俊)

※ロシア語の読み。英語圏ではコーカサス山脈という。ロシア・ジョージア・アゼルバイジャン・アルメニアの4か国にまたがる大山脈で、ヨーロッパ最高峰のエルブルス山5642mをはじめ、4千m峰22座、5千m峰7座を抱える。



# 地図読み 迷人

監修・村越眞  
宮内佐季子  
小泉成行

Lesson 141

道が多い里山での現在地推測



## 【問題】

左の地図は地理院地図で、縮尺は1:20000です。

次の説明文と、時系列に沿った写真①～⑦から、⑦の分岐の位置を推測してください。

## 【説明文】

- A 瓜生山（地図東端の301mのピーク）から歩いてきた。
- B 地図にある道からは一度も外れていない。
- C 地図にある道は全て存在するが、若干のずれはある。また、それ以外にも道がある。
- D 写真①～⑦は全て道の分岐である。
- E 写真には、分岐の手前に1人、分岐した先の道にそれぞれ1人、合計3人が写っている。
- F 分岐は見逃していない。
- G 全ての分岐は三叉路だった。
- H 写真は概ね進行方向を向いて撮影した。



①急な下りが終わったところ。左へ進む。



②右にある白い看板が写真①の左奥にも写っている。左へ進む。



③広くて浅い谷。左へ。この直後、分岐が立て続けに3つあった



④斜面をトラバースする道から尾根道に合流してすぐ。まっすぐ進む。



⑤右へ進む。



⑥ まっすぐ進む。301mのピークを出発してからここまで、高度差10m以上あるような登りはなかった。

⑦ ⑥から3分ほど登り、平らになったところ。

### 【解説】

里山では地図にない道も多い。その可能性を考えて先読みをする（先月号参照）とともに、現在地の確認も柔軟にする必要がある。

B、C、F、G、①、②の説明から、①も②も元の地図上では瓜生山のすぐ西北西にある十字路であることが推測できる。実際には解説地図のようにほんの少し場所がずれていて、①の右の道は—で示した尾根道へつながっている。これぐらいの誤差は気にしてはならない。

③が谷なので、②から南西に下る谷の道に入ったことは分かるが、③周辺がどのようなになっているのか写真からも説明からははっきりとは分からない。しかし、「④斜面をトラバースする道」「尾根道に合流」から、「尾根道に合流」した場所になりうるのはaしかなく、④の場所も確定できる。このように、途中で現在地が分からないところがあっても、その先の分かりやすいところで再度現在地を確認できれば良いという割り切りも、実際の山歩きでは必要である。

⑤の写真をみると、左の道はよくわからないものの、右の道は大きく

右を向いていっているので、⑤の位置も確定できる。

⑥の写真は、まっすぐの道が尾根、右の道が尾根の右斜面を下っていること、⑥から⑦が登りであることから、⑥の位置を確定できる。

⑦は、⑥の位置が確定できていれば○で囲ったピークであることが分かる。ここは地図では一本道だが、—で示したように明瞭な尾根がのびているので、そこに道がありそうだと考える人が多いだろう。実際にその通りに道がある。（ただし広大な私有地があつてどこにも抜けられない。）また、この場所で道が大きく左に曲がっていることから、写真と照らし合わせても想像がつくと思う。そのように考えて●場所と答えた人は大正解だ。しかし、当然のことながら違う可能性もあるので、今回の情報だけで決めつけることはできない。現地にいれば、それぞれの道が尾根であることと、その方向から確定できる。

写真①は3人とも尾根上にいて、右へ下る尾根は見えないが、見えている尾根が左に曲がっていることが分かる。

写真②は直進方向が尾根道、左の

道は尾根の左斜面へ下って行くのが分かる。

写真③は改めて見てもよく分からないし、場所もわからないが、このルートを通っていることを否定する情報は無い。

写真④の直進方向は尾根、右の道は尾根の右斜面を後方へ向かう道で特徴的。

写真⑤は、手前に見えている比較的平らでまっすぐな尾根道も特徴的。

①⑦の位置は解説の図の通り。歩いたルートは—で示してある。また、③、⑦周辺にはおおよそ—で示したように道がある。



【答え】解説図の⑦の○で囲った場所

●の場所を指摘していたら大正解。



# 朋友会

宮城県勤労者山岳連盟



創立 50 周年記念白馬

朋友会は、53年前の1968年に新日本体育連盟（現在の新日本スポーツ連盟）が開催した宮城県登山祭典を機に結成された。仙台周辺居住の会員で構成されているが、仙台の土地柄で転勤族や「転労山族（移動会員）」が多く、当地に居つく会員もいる。

ほぼ若者集団であった会は、「安く楽しく安全に」の言葉通りに、オールラウンドな山岳会へと成長、流れの中で、岩・沢や

滑滑の大行沢沢教室

ハイキングの会などを送り出す母体にもなってきた。設立以来の前半は50人規模の「仲良はんわかクラブ」であったが、後半は百人規模で、会費納入が滞れば退会という

「規律的」な会運営を行っている。

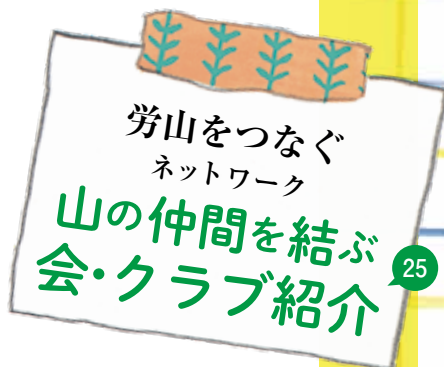
他の全国の会と同様、最多の年代層は60代と高齢化した。が、会員の山に登る意欲はすこぶる高く、会山行と個人山行の合計回数は年間千回以上を維持している。さすがに、テント泊は稀になったが、東北の山々を中心に岩・沢・冬・スキー・小屋泊縦走・ハイク・釣り・キノコ・山菜採りなどの山行やクライムジムでの練習など凄まじいものがある。勢い余ってモットーの「安全」に赤ランプがつき、3年連続で捜索救助隊やヘリ出動事故を起こして、労山基金の世話になりっぱなしで恐縮している。

事務所は、仙台市の市民活動サポートセンターの事務ブースをここ数年借りてきたが、期間制限から、レターケースとロッカーのみを借りて代用している。

## コロナ禍での対応

昨年からのコロナは、存続にかかわる大課題である。個人山行の承認さえできれば会の存在意義はあると居直り、コロナに向きあっている。月一の例会や運営会議はネット会議（Zoomを使用）で行なっている。

山岳四団体の自粛声明に対しては、県内の山や東北近辺の山行であれば、訪門地で嫌がられさえしなければ、山行ニーズと声明趣旨とを両立できる。事態はしばらく収束しないと考える、山行は自粛禁止するのではなく、感染防止に十分配慮した形態として、むしろコロナ禍の健康維持の必要行為と



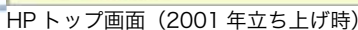
山行は控えてもらっている。  
感染爆発中の2月現在、当然ながら集合会議は解禁ではない。



会運営を効率化

収納してきた。

コロナ前においては、配布資



る。

(橋田明良／朋友会会長)



4月下旬のヤシオツツジとニリンソウ（～5月初旬）

11月中旬の紅葉が素晴らしい

## 西上州屈指の好展望の山

島田恭司

やまなみ／群馬

天狗岩山頂

シラケ山山頂と浅間山遠望

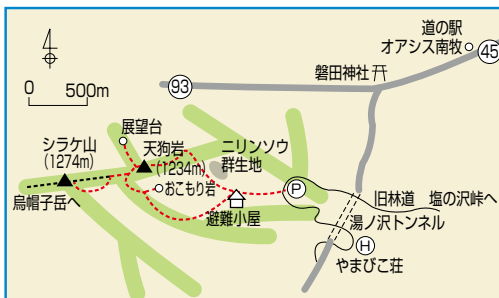
上信越道下仁田ICより約30分の旧国民宿舎「やまびこ荘」前を道なりに10分弱進むと駐車場である。タルノ沢橋手前が登山口で、5分くらい杉林の中を登ると沢沿いの道となる。沢の左岸を気持ち良く登ると、沢水がなくなった頃に二俣にある避難小屋に着く。二俣から左右いずれの道でも天狗岩に行けるが、周回することを考えると右の「ニリンソウ群生地」を経由したほうが良い。二俣から急登になりニリンソウ群生地を経てコルを経由し、再度急斜面を登ると天狗岩（1234m）に出る。天狗岩山頂のすぐ先に展望台があり、南牧の山々や浅間山、荒船山、妙義山などが一望できる。春には目の前にドンとある「シラケ山」斜面のヤシオツツジが素晴らしい。

シラケ山はやセ尾根の岩稜

山頂に戻り、登って来た方向と反対に下る。最初の分岐を直進すると「烏帽子岳」方面の標識が出てくる。やや下り気味に道なりに進むと、二俣からの道に合流する。西に向かい、登り気味のトラバースする道をそのまま数分歩くと、登り上げた位置に小さな標識で「シラケ山」と書かれた分岐になる。これを右の尾根に向かって登って行けば約10分で「シラケ山」山頂に着く。山名のいわれは「開け山」つまり稜線の開けた山との説がある。とても展望の良い所である。とても展望の良い所で、先程いた「天狗岩展望台」が真下に見える。ここから眺める周辺のヤシオツツジも見応えがある。山頂はあまり広くないのと岩場であるので要注意だ。下山は来た道に戻るのが良い。

烏帽子岳からのトラバース道に乗り、天狗岩への分岐を過ぎると、すぐに「おこもり岩（天狗の洞窟）」分岐になる。数分で「おこもり岩」に行けるので、立ち寄ってみるのも良い。二俣まで少し荒れた道になるので注意して降りるのが良い。

※シラケ山から下山時、山頂西からも下山できるが、下降点が若干わかりづらい（表示など無い）。日の長い季節ならば、シラケ山から南牧村の烏帽子岳へ足を伸ばすのも良いが（往復3時間）、シラケ山から先は危険な岩稜になるので細心の注意が必要。駐車場はハイシーズンには満杯になり、路上駐車になることも多い。駐車場には簡易トイレがある。



④ 天狗岩登山口 > 30分 > 二俣 > 20分 > コル > 15分 > 天狗岩 > 35分 > シラケ山 > 20分 > トラバース（横）道 > 15分 > おこもり岩分岐 > 5分 > おこもり岩 > 25分 > 二俣 > 25分 > 天狗岩登山口

⑤ 車利用に限る。上信越道下仁田ICから登山口まで約40分。

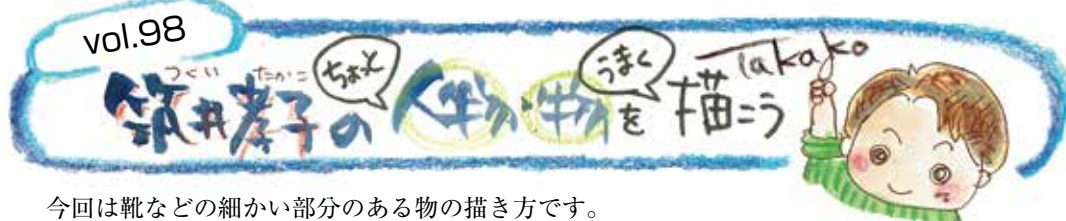
⑥ やまびこ荘（上野村）0274-59-2027。道の駅は「オアシス南牧」が便利

⑦ 上野村役場 0274-59-2111

⑧ 1：25000 十石峠

⑨ 参考タイム ⑩ 交通 ⑪ 温泉 ⑫ 問い合わせ ⑬ 地形図

vol.98



今回は靴などの細かい部分のある物の描き方です。

丁寧に描くのも一つの方法ですが、今回は物を面でとらえて楽しく描く方法です。

登山靴の写真をパソコンに取り込んでスケッチ風に加工したものと私が描いたものを比べてみます。

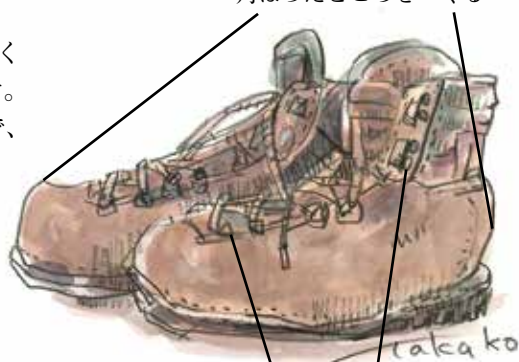
四角がつながっている小さい金具とかを描くことから、面を広げていくことをお勧めします。

線が曲がっても消しゴムで消したりしないで、同じものをたくさん描くといいでしょう。



## 線を角ばらせる

角ばったところをつくる



小さなところから描く

## あらかると

### 頼朝道と太閤道

石井光造



箱根の白銀山はあまり知られていない。箱根からこの山を越えて湯河原へ下りる登山道があったのだが、白銀林道が開かれ、自動車専用の箱根ターンパイクが南斜面を横切ると、山越えの登山道を歩く人が少なくなったようだ。登山道は旗宿から往復になっている。

梅の花の頃によく行く幕山と同じ地図にある白銀の山名が気になっていた。ターンパイクをタクシー利用で見当を付けて降り、登山道を見つけた。山頂近くに太閤道の手作り道標があり、秀吉が小田原攻めのときにこの山を越えたことあった。

ターンパイクから湯河原へ下るかすかな踏跡に「よりとも道」の手作り道標があり、石橋山の合戦に敗れた頼朝が真鶴へ下り、房総へ逃げた道と知った。歩かれていない道は踏跡かすかで完全にトレースできず、春の緑が優しい防火帯を下り白銀林道に下りた（写真）。出た所に咲いていたキブシのかんざしのような花に春を感じたものだった（左写真）。



No.230

プラティパス  
VS  
ペットボトル

笹原芳樹

元カモシカスポーツ本店店長

写真 1

関八州見晴台山頂直下の登山道



広い山頂での展望もすがすがしいが、直下の道も開けていて気持ちがいい。

高山不動尊



山中にこんな大きな建物が！と感動することまちがいない。不動尊下の大イチョウも一見に価する。

プラティパス (U.S.A)  
プラティリザーブ



左が旧、右が新カラーだが内容的には同じ。元々は空気を抜きワインを長期間おいしく保存するための容器だが、私はテント山行などにウイスキーを入れて持って行く。容量 750 ~ 800 ml、重量 24 g、¥1,400

ペットボトル入の  
アルコール飲料



左はジンロだが、このタイプは日本では未発売と思う。右がジンビームで、コンビニ等で入手可能だ。内容量 200 ml、総重量 220 g、¥420 程

関八州見晴台という山を御存じでしょうか？ 首都圏のハイカーなら、そこそこ知られている埼玉県・奥武蔵にある人気の山です。

この山は名前の通り武蔵、上野、下野、常陸、下総、上総、安房、相模の八国が見渡せるというもの、現代なら1都6県を見渡す「7都県見晴台」か!?

広い山頂には高山不動尊の奥之院があり、山頂より20分程の場所には関東三大不動の1つ高山不動尊が堂々と鎮座しています。(ちなみに、三大不動のあと2つは千葉の成

田と東京の高幡。どちらも賑わっているものの、高山は山の中なのでハイカーの他、若干の観光客が来るのみです。)

約1300年の歴史をもつ高山不動は、その昔は各方面から参拝の道がありましたが、今や特に東側は踏み跡もはつきりしない道が何本かになっています。

コロナ禍の中、大きな山へは行きづらく奥武蔵の人気のない山のコースばかりに毎週行っているというS女史にそんな事を電話で聞き、おもしろそうと一緒に出かけることとなったのです。

いわゆるハイグレードハイキングとかバリエーションハイキングとかのコースで、地形図を見ながら進みます。1箇所、Ⅲ級(岩登り難度のグレードでハイカーにはキケン!)程度のクライミングダウンもあり緊張しました。もちろん山頂まで登山者には会いませんでした。

S女史と一緒に山に行くのは確か十数年ぶり。そのときは冬の大菩薩峠の山小屋で一升瓶のワインをしこたま飲んだ記憶があります。

という訳で、私は山頂での乾杯用にプラティパスのプラ

ティリザーブにスコッチウイスキーを入れて自参。彼女も私と同様に考えていたようでペットボトル入りのジンビーム(バーボン)を持って来たのでありました。打ち合わせもしてないのに飲んべえは考える事が同じだったようです。：それも軽量化して。

山で飲み過ぎちゃダメです。この山は最悪、ほとんど車道でも帰れますが、くれぐれも御注意を！ 今や下山しての居酒屋の方がヤバイ…かもね。



## 大事なものを、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ  
出来る品揃えと接客サービスで  
安全快適な山行をサポート。



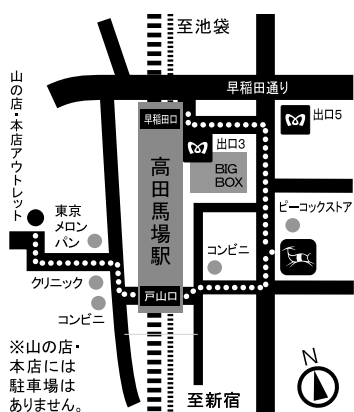
美味しいコーヒーと選りすぐりの登山用品。  
山が大好きなスタッフ。カモシカのお約束。

カモシカ 通販

オンラインショップ24hrオープン!/  
こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

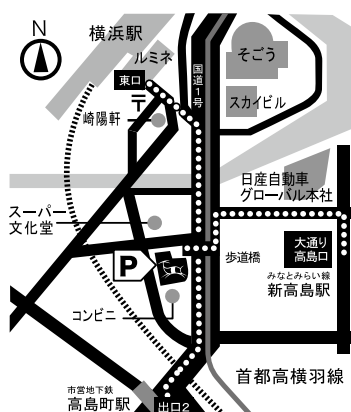
### 山の店・本 店

JR高田馬場駅から徒歩3分



### 山の店・横浜店

JR横浜駅東口から徒歩5分



### 山の店・松本店

松本ICから約6km



登山用品専門店

## カモシカスポーツ

OPEN 11:00 (松本店のみ 10:30) CLOSE 20:00 (月～金) / 19:00 (土・日・祝)

- 山の店・本 店 TEL 03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL 045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32横浜東口・ウィスパートビル1F
- 山の店・松本店 TEL 0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

# 日本勤労者山岳連盟 60年の歩みが よくわかる記念誌と年表ができました

60周年記念講演会とレセプションでお渡しした、記念誌「労山の60年」と「60年史年表」を希望する皆さんにお分けします



## 労山の60年

### 主な項目

- 第一章 労山の誕生と確立 1960～1969年
- 第二章 急速な会員拡大と諸分野の活動の確立 1970～1979年
- 第三章 一時的停滞を乗り越えて 1980～1989年
- 第四章 中高年登山ブームのなかで 1990～1999年
- 第五章 労山の会員数2万人突破 2000～2009年
- 第六章 新しい発展をめざして 2010年～  
(付) 略年表、趣意書、歴代役員など

**1冊 500円 (送料込)**

A4判 120ページ (手渡しの場合は400円)



## 60年史年表

**1冊 200円 (送料込)**

A4判 74ページ (手渡しの場合も同額)

### セットで購入の場合

1セット 600円 (送料込) (手渡しの場合は500円)  
※上記の価格は、何冊ご注文いただいても同一です。

お申し込みは全国連盟事務局まで

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

TEL 03-3260-6331

FAX 03-3235-4324

メール jwaf@jwaf.jp